

法輪大法

北米での巡回説法

李 洪 志

北米での巡回説法

李 洪 志

二〇〇二年三月

皆さん、こんにちは！ （拍手）

しばらく皆さんとお会いしませんでしたでしたが、皆さんに幾つかのことについてお話ししたいと思います。その後、もし何か質問がありましたら、どうぞ出してください。ついでに皆さんに解答します。

主に三つのことについてお話します。一つ目は、皆さんが法の勉強を重視すべきだということです。このことは私がいつも皆さんに話していますが、今日話す内容は今までと違って、私は更に大きな原因を皆さんに教えます。法をしっかりと勉強することは、全ての大法弟子にとって極めて重要です。なぜならば、皆さんの修煉は、昔の如何なる修煉方式、昔の修煉者とは大きく異なっており、皆さんの使命が非常に大きいからです。宇宙の法はここで伝わっており、誰が法を聞きに来るのでしょうか？ 法を聞いた生命はどういうことを行なうのでしょうか？ この全てに更に重大な意義があります。今まで、私は大法弟子が偉大であると言っていますが、実は皆さんが背負っている責任は相当大きいものです。以前から、私と誓約を結んでいる学習者がいると皆さんは知っていますが、実は遥か遠い非常に歴大なその他の天体大穹から、縁を結ぶためにここに来ている学習者も多くいます。また、門を全て開いたので、今回大法を伝える時に多くの根基の良い人も入って来ました。ですから、大法弟子にはこのような三種類の人がいます。

皆さん考えてみてください。遥か遠い天体から来た生命は、何のためにここに来たのでしょうか？ 宇宙で法が正されるため、彼らは遥か遠い天体大穹の中にある非常に歴大な生命群を代表して、ここに師父と縁を結びに来ました。それは法を正す中で、宇宙全体が建て直される中で取り残されないためであり、目的はその天体の衆生が救済度されるためです。そこには歴大で数え切れないほどの生命群がいます。また、私と誓約を交わして来た人達も普通の人ではなく、彼らも非常に大きな天体から来ています。もし次元が非常に高ければ、皆さん考えてみてください。それも相当歴大な天体を代表しているのではありませんか？ また今回法を伝える時に入ってきた学習者の多くも、次元が非常に高いのです。

先ほどお話したのは、誰が法を聞きに来るかということですが、もしこのような人が法を聞きに来ているのであれば、皆さん考えてみてください。大法弟子一人一人は、異なる膨大な天体を代表して来ているのではありませんか？ もしそうであれば、大法弟子自身の修煉が良くできているか否かは、それらの膨大な天体にいる生命が済度され得るかどうかを、決めているのではありませんか？ 皆さんに教えますが、それは間違いなくそうなのです。

その膨大な天体があなたの下にあるので、あたかもあなたの身体のようにです。なぜならば、あなたはそれだけ膨大だからです。中には無数の衆生、数え切れないほどの宇宙穹体があります。皆さんの修煉は、それらの膨大な生命群が良いかどうか、残されるかどうかを決めています！ 皆さん自身のこの世に現れている人身は、実はミクロからみれば、それも一つの巨大な系統です。この部分の身体は皆さんの修煉につれて、最初は病気治療と健康保持でしたが、徐々に身体は高エネルギー物質に転化します。表面上の変化は大きくないかもしれませんが、宇宙は法が正される中で、ミクロから表面に向かって突破していますが、大法弟子も修煉の中でミクロから表面に向かって変化しています。ミクロなレベルの身体は皆さんの修煉に従って、次元の突破が非常に速いのです。しかも絶対多数の学習者は、修煉を通じて表面上の身体が既にさほど残っていません。次元が高ければ高いほど、あなたの責任も大きいのであって、更に膨大な天体と更に多くの生命を代表しており、あなたはそこのために責任を負わなければなりません。つまり、皆さんの人間としての身体は皆さんの絶え間ない修煉につれ、絶えず改善され、ますます良くなり、同時に神の身体に転化していきます。もし皆さんの修煉が良くできていなければ、皆さんも目にしましたが、表面の身体の変化は比較的小さいのです。つまり、あなたが代表しているあの膨大な天体はあなたの身体と同じであり、対応しているのです。それでは、多くの生命はあなたの修煉が良くできていないため、済度されないかもしれません。あなたの修煉がよくできていないため、彼らは良くなり、あなたの多くの心を取り除かれていないため、彼らを妨害し、逆に彼らもあなたを妨害しています。

私はいつも法をしっかり勉強するようと言っていますが、毎回の法会でまたは他のところで学習者に会った時に、いつも法の勉強を必ず重視しなければならない、いくら忙しくても法を勉強しなければならないと言っています。当時、私はこれほど高く奥深いことを話してはならず、またこのことを全て明らかにしてはいけませんでした。今回の魔難を経て、皆さんは更に深く法を認識することができ、修煉と法を実証する中で更に成熟しました。今日皆さんに教えてもいいの

ですが、皆さんの修煉は決してただ個人の圓滿成就のためではなく、皆さんの修煉は、皆さんに限りない希望を託し、皆さんと対応している天体にいる無数の衆生を救い済度しているのであって、全ての膨大な天体大穹にいる衆生を救い済度しているのです。

なぜ、私は大法弟子の修煉が昔の修煉と違うと言ったのでしょうか？ 私は大法弟子が偉大であると言いましたが、もし皆さんの修煉が非常に良くできていれば、それこそ本当の偉大な圓滿成就です。大法弟子の圓滿成就は、ある普通の生命が三界を出れば済むようなことではありません。皆さん考えてみてください。あなたの修煉が良くできれば、その膨大な宇宙では悪くなる生命は少なく、淘汰される生命も少なくなります。あなたが戻る時に、彼らは本当にあなたを自分の主、自分の王と見做し、限りなくあなたを敬慕します。なぜならば、あなたは彼らを救い済度し、彼らのために力をつくし、彼らに全てを与えたからです。もし、皆さんの修煉が良くできていなければ、多くの生命は淘汰されます。なぜなら、救いようのない生命は淘汰されなければならないのです。なぜでしょうか？ 今回の迫害の中で異なる空間の生命は、良いものも悪いものも作用しているからです。良くない生命は法を正すことを妨害し、学習者を迫害しており、同時にあなたをも妨害しているため、厳粛に根絶しなければなりません。修煉が良くできていなければ、多くの生命が淘汰されることになり、あなたは圓滿成就して帰位したとき、当初、あなたに無限の希望を託したそれらの生命の多くが、淘汰されてしまったことに気づくでしょう。そうすると、この宇宙大穹の中で、あなたが代表している天体は、不完全なものになっている可能性があります。そこの無数の衆生が淘汰されてしまったからです。

ご存知のように、今回の迫害の中で、多くの学習者ははっきりと認識することができず、これを常人の人に対する一種の迫害だと思っています。実は今回の迫害は、完全に旧勢力が按排した大法弟子に対する未曾有の邪悪な試練であり、旧勢力に利用された邪悪な生命は真相を知らされないまま、それらは本当に破壊しています。私はこの一切の按排を認めませんが、それらはやはりやっつけました。それらが歴史上に按排した全てを私はみな認めず、法を正す中でもそれらを徹底的に否定しています。ですから、今回の衆生に対する迫害の中で、私たちは人々に真相を伝え、同時に自分を良く修め、正念の中で邪悪を根絶すべきです。私たちはそれらの全てを認めませんが、今回の迫害の中でそれらが行なった悪辣な誹謗中傷は、無数の衆生を毒害しました。

もし、今の世の絶対多数の人々が、本当に高い次元から法を得に来たのであれば、皆さん考えてみてください。彼らは単なる一つの生命ではありません。一つの如来佛は既に一つの膨大な生命群を代表しています。如来にとどまらず、この世に下りる者は皆非常に能力があり、多くの天体の王、主が来ており、彼らは膨大な天体を代表しています。しかし、彼らは常人社会に入ってここで迷ってしまい、ひいては今回の迫害の中で大法への迫害にも参与しました。もしこのような人が消滅されたら、皆さん考えてみてください。彼自身が消滅されるだけでなく、消滅されるのは一つの膨大な天体です。

私は大法弟子が素晴らしいと言っていますが、これほど厳しい迫害の中で、皆さんはまだ世の人々に真相を伝え、衆生を救い済度しています。皆さんが救い済度したそれらの生命は、皆さん考えてみてください。それはただ普通の一人の人間なのでしょうか？ もし彼が本当に膨大な天体と対応しているのであれば、彼に真相を伝えた時、あなたが救ったのは一つの膨大な天体であり、膨大な生命群であり、一人の主であり、一人の王です。ですから、大法弟子は偉大ではありませんか？ 大法弟子がぶつかったことは、全て非常に大きな出来事です。昔、衆生を普く済度すると言っていましたが、救ったのはただ一人の非常に小さな個人であり、普通の常人でした。そのようなことは大法弟子がするに値せず、私の大法弟子がする必要はありません。皆さんが行なっていることは全て相当大きいことです。今日の迫害の中で、一人の普通の常人が「法輪功を迫害しないでください、法輪功は素晴らしいのです」と他の人に教えたとしましょう。その人が大法弟子を迫害せず、ひいては将来に残って法を得るかもしれませんが、もしその人が元々、高い次元から法を得に来た者であれば、彼の修煉は速く進みます。それでは、皆さん考えてみてください。彼の圓滿成就はある巨大な生命群の圓滿成就であり、一人の王、一人の主の圓滿成就です。しかし、彼の圓滿成就の機会は一人の常人によってもたらされたのであり、この常人、一人の普通の常人も大きな神になります。ましてや私たち大法弟子はこれほど大きな、偉大なことを行なっており、救い済度したのは一人二人ではなく、しかも引き続き積極的に世の人々に真相を伝えており、絶えずこのようなことを行なっており、より多くの生命を救い済度していて偉大ではありませんか？

以前、個人修煉の圓滿成就は、大法弟子にとって大したことではないと私は話したことがあります。それはただ、修煉の過程で大法弟子が自らの基礎を築いているだけで、更に大きなことをするための準備です。もし個人の圓滿成就を頂点だと思っていれば、それは法を正す時期の大法弟子になる資格はありません。法

を正す時期の大法弟子とは何でしょうか？ 全世界に実は七十億人がいると私は分かっています。大法弟子全てを合わせても、当初はただ一億人にすぎませんでした。これはどういう比率でしょうか？ それらの人は法を得ることができないのでしょうか？ 次の段階において人間はまた修煉し、圓滿成就する人もいますが、それはただの個人修煉にすぎません。第一段階で法を得たのは「法を正す時期の大法弟子」と呼ぶのです。皆さんは法を正す時期を共にし、大法は皆さんに偉大な責任、使命を賦与しました。それに対し、将来法を得る人は、ただの個人修煉にすぎず、このような栄光がなく、このような偉大なことに巡り合うことができません。ですから、衆生を救い済度することは非常に素晴らしいことではありませんか？ 非常に偉大ではありませんか？ 実はこれも非常に緊迫しているのです。

先ほど、もし私たちの修煉が良くできていなければ、将来の圓滿成就は私たち大法弟子にとって、ただ、胸の痛い話で済むようなことではないと話しました。修煉が良くできた人は、元の世界に戻ったら本当に完全な圓滿成就になり、彼に限りない希望を託した衆生は皆、彼に救われます。一方、修煉が良くできていない人が戻ったら、その宇宙は破損して不完全なものになります。今回の迫害の中で、反対の方向へ走ってしまった人、ひいては非常に良くないことをした人、皆さんに教えますが、師父は彼らも見捨てたくはありません。(拍手) 彼らは表面の全てを、もう持ち帰ることができません。彼らがよく修煉できず、しっかり行なうことができなかつたため、それらの巨大で大勢の生命は皆、だめになりました。私は旧勢力の按排と今回の迫害を認めません。表面と大法弟子の本質は旧勢力によって隔離されているため、大法弟子は多くのことに対して為す術もありません。しかし、表面が邪悪生命に操られ、動かされて悪事を働いたのは、執着心があるために邪な生命に利用されたからです。ですから、私は大法弟子の本質を抽出します。一方で、大法弟子の表面が悪事を働くように操り仕向けた旧勢力と、大法に直接迫害を加え、それらの旧勢力に利用された邪悪生命は皆、果位と一切の能力を削り取られ、それらに迫害された大法弟子の業力と、各種の後天的な観念によって構成された、その部分の人身の中に打ち込まれるのです。この部分の人身、つまり、それらに利用されたその部分の人身は、元々新陳代謝の中で除去されるものであり、打ち込まれた後に一緒に地獄に堕ちます。なぜならば、本当の悪事は旧勢力が邪悪な生命を利用して、人間の業力と観念を操って行なったからです。私は弟子を当初来た時のままに戻させますが、彼らは何も持ち帰りません。そして、戻ってから、彼が代表した歴大な天体は全て空になり、元々あった全ての生命もなくなります。なぜなら、彼の修煉が良くできていないため、全て

が悪くなり、淘汰され、再び作り直すしかないからです。ですから、個人の修煉の中で絶えず法を勉強しつづけるのは、非常に重要なことです。皆さんが法をしっかり勉強しなければ、大法のことをする時、多くのことに正しく対処することができず、きちんに行なうこともできません。もし、しっかり法を勉強したなら、多くのことは行ないやすくなり、同時に問題も起こりにくいのです。ですから、いくら忙しくても法を勉強しなければなりません。

先ほどお話したのは一つ目のことです。二つ目ですが、つまり私たちは真相を伝えることを重視しなければなりません。真相を伝えることは大法弟子にとって本当に重要であると、皆さんははっきり分かるべきです。あなたはただ個人の修煉をしているのではありません。あなた個人の修煉は自分が代表している膨大な天体の中の生命を救い済度しているのです。真相を伝える中で、あなたは更に多くの、ひいては更に大きなその他の膨大な天体及びその天体の中の生命を救い済度しており、それは大法と歴史が皆さんに賦与した責任だからです。先ほど既にお話しましたが、もし世の中の多くの生命が皆、相当な由来を持っている人で、彼らは何らかの王や主、非常に大きな天体の神であれば、彼らが代表しているのは、非常に大きな天体と大勢の生命群です。あなたが彼を救ったのであれば、皆さん考えてみてください。あなたは一人の神を救ったのではありませんか？ 非常に次元の高い神であるかもしれず、しかも、彼は更に膨大な天体と無数の衆生に対応しています。それはどういう威徳なのでしょう？ これは簡単なことでしょうか？ 大法弟子だけがこれほど重要な使命を賦与されているのです。

ですから、個人の圓滿成就是皆さんにとって大したことはありません。歴史上、皆さんは幾度となく修煉したことがあり、多くの時期にこのような道を歩んだのです。現在、皆さん個人の圓滿成就の基準に対する試練は、全く大したことなく、それは大法弟子が法をどれほど把握したかに対する判断基準です。皆さんの個人修煉の圓滿成就の過程は実は、将来法を守り、法を実証するための基礎を築いており、なぜならば、皆さんはある程度の素質が備わり、法に対して深く認識し把握しなければならないからです。同時に、皆さんの個人修煉の過程で、皆さん個人が到達できる基準を完全に満たさなければならず、そうしてはじめて、肝心なときに真に大法を実証し、大法弟子として行なうべきことを行なうことができるのです。ですから、大法弟子の責任は、個人の圓滿成就のためではなく、法を実証する中で衆生を救い済度するためです。これこそ、大法弟子の歴史的使命であり、真の大法弟子の偉大さです。

世の人々について皆さんに教えますが、実は、当初、神によって造られた人間の皮の中の主元神は、近代になって徐々に他の空間に留まり、この世に転生して来ないようにさせているのです。この人間の皮の絶対多数は、高次元の生命に占拠されました。つまり、彼らは法を得に来る際に、この皮を使わなければならないからです。その中に大法弟子も含まれています。ですから、真相を伝えることは非常に重要なことです。

もちろん、多くの学習者は黙々として大量の真相を伝える仕事をしています。チラシを配ったり、電話を掛けたり、インターネットを利用したり、領事館に行ったりして、また各種の媒体を通じて、世の人々に大法の真相を伝え、邪悪の迫害を暴露しています。中国国内の学習者は更に素晴らしいのであって、極めて強い邪悪による圧力の下で、法を実証し、衆生を済度しています。皆素晴らしく、偉大なのです。しかも、皆さんはみな非常に積極的に行なっています。厳寒酷暑や大雪、大雨に関係なく、世の人々の態度がどうであろうと、いくら難しくても、みな行ない続けています。この全ては師父に分かっています。私はこれらを目にして、嬉しく思っており、皆さんが自ら進んで行なうべきことを行なっていると分かっています。大法弟子全体はこのように行なっています。もちろん、精進していないごく僅かな一部の人や、認識が足りない人も少しいますが、彼らはこの非常に良い主体を代表できず、主流ではありません。しかも、表に出て来ていない人達も相次ぎ出て来ています。私は幾度となく皆さんの行なった全てを評価しました。つまり、大法弟子はほぼ法を正す要求に従って行なっています。この全てに問題はなく、しかも非常に素晴らしいのです。

先ほど、二つのことについてお話しました。三つ目は正念を発することです。これは大法弟子が目下行なうべき三つのことです。正念を発するという事は私たち大法弟子にとって、それも非常に偉大なことです。1999年7月20日以後、大法、大法弟子及び世の人々に対する天地を覆い隠すかのような迫害は、歴史上前例のないものです。歴史上のキリスト教、佛教及びその他の宗教に対する迫害は、ここまで邪悪にはならなかったのです。その時、これほど膨大なメディアがなく、交通手段も発達していなかったため、迫害はただ非常に狭い地域に限られていました。今日、中国の面積は広く、害された衆生も多いため、中国だけで十数億人が直接被害を受けています。しかし、今回の迫害は中国大陸に留まることなく、実質上全世界的なものであり、虚言によって全世界の人々が毒害されました。同時に、天地を覆い隠すかのような誹謗中傷と世論は大法弟子にとって、巨大な圧力となりました。更に深刻なことに、これらの誹謗中傷によって全世界の

人々が毒害されました。これは宇宙の法であり、全ての生命を造成した法であり、ある生命が頭に大法に対して良くない考えが入っていれば、皆さん考えてみてください。現在、法を正す中で全ての生命は皆、法を正すことに対する態度によって、その生命が残されるか、取り除かれるかが決められているため、この生命は法がこの世を正す時に、残ることができるのでしょうか？ 法がこの世を正すことが始まったら、すぐ淘汰されます。ですから、これは全世界、全人類に対する迫害ではありませんか？

大法弟子は素晴らしいのです。迫害が始まった時、皆さんはこのようにことごとくぶつかったことがないため、心理的な準備ができておらず、どうすればよいか迷ってしまいました。その後、だんだん冷静になり、皆徐々に表に出て法を実証するようになりました。今皆さんは更に理性をもって今回の邪悪を暴露し、衆生を救っています。今、私たちはほぼ全世界の全ての政府、全世界の絶対多数の人々に、法輪大法の素晴らしさや、罪のない私たちが迫害されていること、中国の邪悪な首魁の醜さと極悪な変態した面相を分からせ、その政治集団の邪悪さをはっきりと認識させることができました。私たちが直面しているのは、極めて邪悪な政治のならず者である統治者が操っている、膨大な国家宣伝媒体です。私たちが全世界の人々に迫害の真相を分からせ、でっち上げと誹謗中傷に毒害された世の人々を救うことができ、これは素晴らしいことであり、本当に素晴らしいのです。中国大陸の弟子は厳しい圧力の下でも、なお、このように行なっており、中国人を目覚めさせたのです。全世界の人々を目覚めさせ、皆この迫害の邪悪さが分かり、誰もそれに従わず阻止しているのであれば、邪悪はまだ続けられるでしょうか？ 実は迫害を操る邪悪な要素は現在、既に非常に少なくなり、大法を試練するには既に足りなくなると古い勢力は思っています。大勢がもはや挽回できなくなると邪悪にもみえており、大法は永遠に消滅されることはありません。

皆さんはまだ覚えていると思いますが、皆さんが正念を発し始めた頃、大法弟子を迫害するそれらの邪悪な生命は、すぐ列を作り陣立てをし、太鼓を打ちながらやって来ました。皆さんが一定の期間を経て、正念を発することによって、これらの邪悪な要素が大量に根絶され、今皆さんが正念を発する時に発せられた功は、あちこちに行ってそれらの邪悪なものを探さなければなりません。大法弟子が掌を立てるとすぐに、邪悪生命は逃げてしまいます。大法弟子が真正面から悪人を直視すれば、悪人はすぐその視線を避けてしまいます。なぜならば、悪人を操る邪悪生命は正念を恐れて逃げたて、少しでも逃げ遅れたら、大法弟子の正念によって瞬時に根絶されると分かっているからです。ですから、邪悪は現在、

中国の邪悪の中心に向かって絶えず収縮し、全世界の他の地域にある人間の考えを制御する邪悪要素は、既に最終的に根絶されつつあります。

1999年7月20日当時、迫害が始まったばかりの時に、全世界の多くの地域の人は大法のことについて全く知らず、急にこれほど大規模な弾圧が中国に現れ、一体どういうことなのでしょう？ 全世界のマスコミは皆、デマを作り上げる中国のマスコミの宣伝を引用し、当時の圧力は非常に強いものでした。もちろん、これはただ形式上の圧力であり、更に本質上の圧力もあります。この形式上の圧力でさえも、かつてなかったことです。皆さんはこのような圧力に耐えながら、この全てを今の程度まで正すことができ、本当に素晴らしいのです。

当時、淘汰されると運命付けられた宇宙の邪悪な要素は、上からのしかかってきたとき非常に大きなもので、三界全体、各層の粒子が構成した空間にぎっしり詰まり、全宇宙の邪悪が皆のしかかってきました。これほど大きなものが、人類、三界にのしかかりました。皆さんも見ましたが、当時、マスコミで報道された地球の写真は悪魔の顔のようで、それはただ地球の表面の一層の空間だけでの現れでした。法を正すことがなければ、三界内の生命は誰一人も生きることができません。なぜなら、そのものは相当巨大な天体まで消滅させることができるからです。法を正す勢いが、のしかかってきた全てのものを消滅したとき、全体的に人間の思想を抑制していた要素が取り除かれ、形勢に大きな変化が起こりました。今まで真相を伝えた時、多くの方は全く耳を貸そうとせず、しかもその態度は非常に悪辣だったのです。これらのものが消滅されたとき、再び真相を伝えるに行くと、人々は受け入れたくなり、聞こうとしたのです。しかし、まだ理性的ではなく、なぜならば、三界内に潜り込んだ邪悪な生命はまだ人間を操っており、大法に対して良くない考えを持っている人を操っているからです。デマを捏造するマスコミの宣伝による影響を受けたため、このような人が相当多く、当時私たちにとって大きな圧力となり、しかも多くの邪悪な生命は非常に次元の低いものでした。このような状況の下で、皆さんに正念を発するようにと教えたのであって、正念を発する中で、人を操る邪悪な要素を根絶し、根本から世の人々を目醒めさせたのです。

法を正す全過程の中で、私の功はミクロから表面に向かっています。実は速度は非常に速いのですが、後で法を正すことについて話します。法を正す勢いが人間の表面までやってくるまで、つまり法を正すことが絶えず表面に向かっていますが、表面のところで法が正されるまでの間、この間に邪悪な旧勢力

はその全てを表現しており、最も邪悪で、最も底辺のそれらの奇怪な形をしている生命を利用し、大法や大法弟子を迫害しています。大法弟子も法を正すことがやってくるまでの間、法を実証し、衆生を救い済度しています。全ての現れは皆この間に起きています。

法を正すことが徹底的に終わるまで、法を正す勢いは残っているこの部分の空間で押し進められています。ただし、法を正す勢いが表面空間にやってくるまで、表面空間の中に宇宙の旧い法、腐敗した法がまだ存在しているため、この旧い法は、法を正すことがまだ到来していない、旧い空間の中の全ての生命を制約しています。もし、この旧い法をあまり早く壊滅させてしまい、つまり法を正すことがやってくる前に旧い法を壊滅させてしまえば、皆さん考えてみてください。それでは深刻な問題が起きます。つまり、宇宙の上下、横と縦の方向の空間、全ての空間は乱されてしまい、宇宙の中の全ての時間が存在しなくなり、一つの最大の空間となり、最も速い時間となります。旧い空間の中の全ての生命は最も速い時間の中で、最も速い速度で全て爛れ、全ての物質は直ちに腐り、残っている法がまだ正されていない旧宇宙の表面の全てはおしまいになり、直ちに解体してしまいます。旧宇宙のまだ法が正されていないこの表面も、無数の膨大な空間、無数の衆生、無数の神によって構成されているため、法が正されるまでそれを壊滅させてはなりません。さもなければ、そこにいる衆生は法が正されることがやってくる前に解体されてしまい、救い済度されなくなります。師父は皆さんと世人を救い済度しているだけでなく、それらの高次元の生命をも救い済度しています。旧い生命に新宇宙の様子が見えず、しかもそれらに見させないので、それらはこの旧い法理に従ってこの旧い宇宙の全てを守っています。ですから、私は新宇宙の基準をもってそれらに要求していますが、それらはそれが見えないので承知しません。法を正す中で、旧い法は実は私と大法弟子を妨害する作用をしています。私はそれを壊滅することができます。先ほどお話しましたが、衆生を救い済度するためにそれを壊滅させてはならず、いざ壊滅させてしまうと、これらの生命は済度されなくなり、この部分の天体にいる衆生は全ておしまいになります。しかも私たち大法弟子の主体はまだここにいるので、救い済度することは更に難しくなります。

ですから、多くのことは簡単にみてはいけません。この旧い法を破らなければ、法を正すことに困難をきたしますが、この法を破ってしまえば、衆生を救い済度することに深刻な結果をもたらしてしまいます。大法弟子は正念を発し、邪悪が皆さんに加えた迫害を根絶していますが、正念が純正であればやってもいいので

す。古い法理もこのような理です。これは正念をもって修煉に対処し、正念をもって衆生を救済することと同じ道理です。ですから、皆さんはこのことを行なうことができます。もし師父が皆さんの代わりにやってしまえば、この古い法理と古い神は承知しません。なぜならば、多くのことは私が皆さんのためにやりましたが、これ以上多くやってしまい、或いは全て引き受けてやってしまえば、この古い法理と古い宇宙の生命がそれをみたら、きっと承知しません。皆さんの全てを私が引き受けてしまえば、大法弟子自身が修煉していないとそれらは思ってしまうので、立ち上がってこのことを阻止します。

もちろん阻止されても、私はそれらを片付けることができますが、このようにして良いのでしょうか？ 多くのことはそれほど簡単ではありません。例をあげてみましょう。きちんと行なっていない中国国内の一部の学習者が捕らえられ迫害されるとき、凶悪な警官は彼らをひどく殴っています。しかし、その時、一部の学習者は正念が足りないため、受けた迫害は更に深刻なものでした。邪悪が彼を殴った時、彼は自分が大法弟子であることを忘れ、師父に助けを求めようと思いつかなかったのです。また、一部の学習者が師父に助けを求める時も、強い恐怖心を抱いています。多くの人は殴られて非常に痛い時、「お母さん、お母さん」と叫んでいます。完全に今回の迫害を常人の人間に対する迫害と見做してしまいました。この時、私がお母さんを守りにいけば、旧勢力は承知しません。それらは古い宇宙の理を守っているからです。それが宇宙の唯一の理だと思い、それらに新宇宙が見えないからです。「これがあなたの弟子ですか？ 彼はあなたを師父としたのですか？ 彼は自分を修煉者に見做したのですか？ 彼に正念がありますか？ 彼は生死を放下したのですか？ 彼は金剛不動になったのですか？」とそれらは言うのです。その時、師父は本当にそれらに詰問され、返す言葉がありません。もちろん、一時一世の現れで、その学習者がもう私の弟子でないとは言えません。それらも分かっており、「彼を殴る目的は、彼に正念が出るようにするためです。彼はあなたさえ認めておらず、自分を大法弟子とも見做していないから」と言うのです。

ですから、時に師父は本当に何も言えません。しかし、宇宙で法を正しているため、私は根本から今回の迫害を認めておらず、邪悪生命を操り利用する神と邪悪生命と一緒に徹底的に根絶することができます。次元がいくら高くても、誰が殴ったとしても、誰が操り利用し按排したかにかかわらず、私はそれらを手に掴み壊滅することができます。師父がここに坐っている時、一人の常人ですので、あなたは私を常人と見做せばいいのです。しかし、師父の他の全ての空間にある

体は、とてつもなく巨大で、一層一層大きくなり、宇宙がいくら大きくても、私より小さいのです。(拍手) しかし、皆さん考えてみてください。もし私がこれらの生命を壊滅してしまえば、旧い理と法が正されていない膨大な表面の宇宙空間の中にある生命はそれを見て、「あなたは何をやっているのですか？」と言うのです。それらは一斉に立ち上がって攻撃し、私と対立してしまいます。それでも、私はやはりそれらを消滅することができます。いくら多くやって来ても、私はそれらを片付けることができ、それらの果位を削り取って地獄に落すことができます。皆さん考えてみてください。私は衆生を救い済度しに来ましたが、それらの神も生命ではありませんか？ それらは更に高次元の生命であり、もっと済度すべき生命です。しかし、この大法弟子の現れが大法弟子らしくないのに、私が彼のために無数の、更に無数の神を消滅したら、皆さん考えてみてください。これは正しいのでしょうか？ 正しくないのです。ですから、皆さんに教えますが、一部のことに對して師父も持て余しています。師父の能力が足りないのではなく、全ての衆生が済度されるためです。皆さんが正しく行なう時に、師父は何でもやってあげることができます。もし皆さんが本当に正念が強くと、生死を放下することができ、金剛不動になれば、邪悪は敢えて手を出すことができません。このような人を死なせない限り、どんなに迫害しても効果がないとそれらは分かっているので、邪悪もあきらめてしまいます。もし、このような状況下でも、邪悪がまだ迫害しようとしたら、師父はそれらを許しません。師父に無数の法身があり、更に私に手伝っている無数の正神も直接邪悪を根絶するのです。以前、全ての大法弟子が皆、「天竜八部」によって守られていると皆さんに教えたのではありませんか。皆さんがきちんと行なっていないため、神々は旧い宇宙の法理に制限され、やきもきするだけで、手のつけようがありません。

それでは、旧い勢力は一体私とどういう関係なのでしょう？ このことについてお話しします。実は、これらの旧い勢力は、厳密に言えば、それらも法を正すことを壊滅させるために行なっているのではなく、それらはそういう勇気もありません。それらの目的は不純ではありますが、法を正すことを成功させようとしています。ただそれらはこの全てをそれらの要求に従って行ない、それらの要求に従って法を正そうとしています。それは絶対許されません。なぜならば、宇宙の中の生命は全て腐敗しており、それらの生命を構成した本源的要素まで不純になり、要素の要素まで不純になったからです。これは、それら自身も気付くことのできないことであり、どんな方法を用いても自分自身を純粹で正しくすることができません。それら自身も法を正すことの要求と新宇宙の基準に到達することができないのに、どうして法を正すことができるのでしょうか？ それらの要

求どおりに法を正すことがどうしてできるのでしょうか？ 法が正されて、生まれた新宇宙が旧宇宙の生命の基準と要求に従って造られたのであれば、それはやはり旧宇宙ではありませんか？ 表面は変わりましたが、本質は変わっていないのではありませんか？ 旧宇宙の全ての衆生は、宇宙が先天の最も純粹で正しい時に、どのようなものだったのかを全く知らないのです、どうしてそれらの要求に従って行なうことができるのでしょうか？ ですからそれらを認めてはいけません。しかし、それらは成、住、壊、滅という古い法理の中で解体されたくないため、本能的に自分を救おうとしていました。それらがこのことをする時、宇宙の最も次元の高い生命から、最も次元の低い生命までも参与しており、一つの整った系統が上から下まで、全ての次元において、それぞれ 20%の生命が参与しています。また、全ての次元は法を正すことについて、どのように私に手伝うかを具体的に按排しています。しかし、全ての次元の生命は皆不純であり、最後のその生命まで不純になりました。私に手伝っていると同時に、それらは自分を守るといふ私心を隠しており、皆が他人を変えようとしていますが、自分を変えたくありません。皆自分に触れたくなく、ひいては自分が執着して放さないものを最大限に守っています。全過程で、それらが多くの非常に良くないことをしました。その中の一部はそれらがわざとやったのですが、それが悪いことであるとそれら自身が認識できなかったこともあります。ですから、それらが行なった全ては新宇宙の基準に到達することができず、この旧宇宙の初期の基準にも到達していないため、新宇宙の基準までなおさら程遠いのです。新宇宙は一体どういうものなのか、それらは知る術もありません。この肝要な時に、法を正すことに対する衆生の態度は皆衆生の未来を決めており、つまり、法を正す中で一切の生命を試していて、それらの位置を配置しなおし、その中には淘汰されることも含まれています。ですから、それらが新宇宙の様子を知ることは許されず、法が正された後の全てとそれらが按排した全ては全く異なります。

ここでまず、時間についてお話します。実は法を正すことの時間は非常に速いのです。天体の外で新宇宙の全てを造るなら、それは手を振るぐらいの時間でできることであり、これほど速いものです。これは一つの喩えではありますが、確かに手を振るぐらいの時間で完成します。これほど速いのです。それでは、なぜ私は十数年をかけてこのことをしたのでしょうか？ 実は宇宙の中に異なる空間があり、異なる空間にまた異なる時間があります。宇宙の中には、大から小まで、無限のミクロから無限のマクロまで無数の粒子があり、全ての粒子の上にみな一つの独立した時間があり、全ての時間にまた長さの違いがあります。更に、粒子と粒子が構成したそれぞれの大きな世界や小さな世界の中に時間があり、粒子と

無数の粒子が構成した更なる膨大な天体の中にまた時間があり、同じ次元の粒子全体が存在している膨大な粒子群に、また更に膨大な時間があります。宇宙の中の時間は宇宙の生命のように多く、計り知れず、しかも宇宙の全体にまだ一つの全般的な時間があります。その中に各空間で具体的に作用している無数の、更に無数の時間があり、この全ては異なる空間にいる衆生の存在方式のために造られたものです。ある空間では、時間が非常に速く、ある空間では、時間が非常に遅いのです。先ほどお話した各空間での時間の速さという話は、話し始めてから今まで、私と同時に進んでいる空間もあれば、既に数日か、数万年も過ぎた空間もあれば、数億年、数兆年も過ぎた空間もあり、これほど速いのです。宇宙があまりにも膨大なので、中の粒子が無限にミクロであり、無限にマクロであり、それぞれ自分の時間が存在しています。皆さん考えてみてください。宇宙全体がいくら広くても、宇宙のあらゆる時間の概念の中で行なわず、全ての外でこの法を正しており、宇宙の時間の外で行ない、如何なる時間にも制限されません。宇宙がいくら広くても、時間がいくら多くても、天体の外で手を振る間に完成してしまい、この速度は宇宙の中の最も速い時間よりも速いのです。しかし、皆さん、このことを考えたことがありますか。つまり、この手を振っている間に既に数億年も過ぎたところもあります。

人類のこの空間はまだ良いほうですが、法を正してからただ十数年で、1999年7月20日から現在までただ二年あまりで、数えて四年目ですが、私が法を正するのは十数年の時間にすぎません。皆さん考えてみてください。それは非常に速いものではありませんか？ 実は非常に速いもので、このように手を振っている間にこの全てを完成させましたが、人類の空間で現れた時間の差異は十数年です。しかも法を正してから、宇宙の全体の時間は速められています。1999年7月以前、一日は昔の一秒でした。今も絶えず速められています。現在の一年はおよそ昔の一秒です。これはまだ平均数であり、今もなお速められています。

皆さん考えてみてください。これほど速い速度ですが、あなたの生命全体の歴史の中で、あなたの生命の永遠の中では、何ものでもありません。将来、この時期を振り返ると、ただの一瞬で、何でもありません。皆さんが当初、この迫害の中で一日が一年のように感じていましたが、今のこの時期にも、「いつ終わるのでしょうか？ この迫害の終わりがいつなのでしょう？」と考える学習者はたくさんいます。ですから、師父が詩の中で春がもうすぐやってくると書いたので、(皆笑って)春で終わるのではと考える人がいます。以前私が詩の中で秋も書いたので、(皆笑って)きっと秋に終わると思う学習者もいます。秋が過ぎましたが、

終わっていないので、がっかりしたような気持ちです。皆さん考えてみてください。これは常人の心でこの全てに対処しているではありませんか？

一人がこのように思う、二人がこのように思う、三人がこのように思う、それでも大したことではありません。もし大法弟子全体の多くが皆このように思っているのなら、それはある強大な執着心、強大な障碍ではありませんか？ あなたはこの時間をきちんと利用しておらず、早く終わるようにと望んでいます。皆さん考えてみてください。もし今日で終わってしまえば、中国でどのぐらいの人が死んでしまうのでしょうか？ 多くの方が更に大きな天体の無数の生命と対応していますが、すぐ終わってしまえば、どれほどの生命が淘汰されてしまうのでしょうか？ 私たちが彼らの頭にある宇宙大法を敵視する邪悪な考えを取り除くことができず、彼らの多くがまた歴大な天体を代表していますが、彼らが淘汰されることによって、それと対応している宇宙でどれほどの生命が死んでしまうのでしょうか？ どれほどの生命が淘汰されてしまうのでしょうか？ 皆さんはこのことを考えたことがありますか？ 皆さんは大法弟子であり、歴史は皆さんに偉大な責任を賦与しました。私たちはこの時間をしっかりと利用すべきであり、まだ終わっていないければ、これは即ち衆生を救い済度する機会です。時間があまりないので、一旦法がこの世を正し始めたら、人間それぞれの置かれるべき位置は決まってしまう。私たちは旧勢力の按排を認めませんが、皆さんはこの間に自ら錬磨し、大法弟子の威徳を樹立しました。大法弟子は大法が迫害に遭っている時、まず考えなければならないことは衆生を救い済度することであり、如何に大法を実証するかということです。これは偉大ではありませんか？ 今回の邪悪の按排を私たちは全く認めませんが、なんと言っても迫害が現れ、邪悪がこれほど多くの衆生を迫害したので、私たちは時間を無駄にしないで、彼らを救い済度することをまず考えるべきではありませんか？ それを常人が人間に対する迫害だと見做し、「いつ名誉を回復してくれるのでしょうか？ いつ終わるのでしょうか？」と常人の心を抱いて物事を考えていますが、皆さん考えてみてください。このような考えは大法弟子が抱くべきことでしょうか？

時間が長くなることを恐れなくてください。皆さんに教えますが、キリスト教は迫害されて三百年後にやっと普及しました。重大な使命を持っている大法弟子は、普通の修煉者にも及ばないのでしょうか？ 大事なのは私たちがどのように物事を認識するかです。皆さんにお聞きしますが、もし衆生を救い済度することがまだ十年かかるのであれば、皆さんはやりますか？（学習者は口をそろえて、「やります！」と答えた）（拍手）これこそ大法弟子です。（拍手）もちろん、

まだ十年あるということはありませんが、そこまで長引くことも許されません。それらの寿命もそれほど長くありません。

しかし、大事なのは大法弟子がどのように物事に対処するかです。一人がこのように考えても、二人がこのように考えても問題ではありませんが、もし大法弟子が皆このように考えていれば、それは問題になります。皆さんはまだ覚えているでしょうか。1999年4月25日以前、中国のあの首相は大法を認めたことがあるのではありませんか？ 4月25日、学習者が上申した時に、彼は大法弟子に接見し、しかも非常に良いことを言いました。そこで、今回の破壊が始まってから、一部の学習者に多くの常人の心が生じ、「中国大陸のあの邪悪の首魁が早く死んだほうがいい、彼が死んで、あの首相がその地位につくことができれば、大法の名誉が挽回されるのではないか？」と思ったのです。皆さん考えたことはありますか。これは宇宙の法なので、人間が迫害を加えようと思えば迫害でき、名誉を回復させようと思えば回復できることでしょうか？ 人間にその資格はありません！ なぜ、希望を一人の常人に託し得るのでしょうか？ 皆さんは大法弟子なのです！ 一人の大法弟子は既に非常に膨大な空間を代表しています。人類は何ものでもなく、ただ旧勢力はそれを利用して、皆さんの更なる大きな能力を封じ込めているに過ぎません。どうしてこのように物事を考えているのでしょうか？ もし、皆さんが皆このように思っていれば、旧勢力はそれを目にして、「どうして、皆にこのような心があるのでしょうか？ この心を取り除かなければなりません。それでは、あの首相を悪い人に仕立て上げ、たとえ彼を悪人にしても、皆さんの常人の心を取り除かなければなりません」と思うのです。このようなことではありませんか？ 旧い勢力は人間を大事に思っておらず、殺したければ殺してしまいます。法を正す中で、それらは自分の按排だけに執着しています。

法を正すことが本当に破壊されたら、宇宙は本当になくなり、それなら旧い勢力もなくなります。何の生命もなくなり、全てが解体してしまいます。旧い勢力が宇宙を更新しようとしています。実質的にそれを成し遂げることができないので、それらは自分のやろうとすることに執着し、法を正すことを左右しようとするために果たした作用は、100%悪いものです。なぜならば、法を正す中での全ての妨害はそれらが按排したもので、その要求に従わないとき、それらは悪事を働きます。法を正す中で、これらの生命は淘汰するしかありません。皆さんは真相を伝える中で、本当に済度し難い人を目にしましたが、実は皆さんに教えますが、世の中の多くの人には既に全く救済済度することができなくなりました。私が書いた「慈悲で済度される人はどれほどいるのか」という文を覚えていますか？

大法弟子よ、真相を伝える中で、皆さんがいくら努力しても、皆さんに教えますが、最終的にやはり非常に多くの生命は救われることができず、彼らは淘汰されることになっています。中国大陸で多くの人淘汰されると私には分かっており、非常に恐ろしいことであり、数が非常に多いのです。

先ほどの話に戻りますが、先ほど私と旧勢力の関係についてお話ししました。この古い勢力は、宇宙が成、住、壊、滅という法理の中で終焉を迎えようとしているのを見て、自分を救うために、相当久しい昔からこのことを按排し始めています。私が誰であるかは誰も知らず、私も私が誰であるかを知りません。私を見たことのある生命はなく、私を何かと呼んだ生命もいません。私は形もなく名もなく、宇宙の中の全ての生命が構成したものと違い、宇宙内の衆生にとって、私は何ともありません。多分宇宙までなくなった時、私だけが残っています。私には何ともありません。私が誰であるかを知っている生命はいません。しかし、私がいなければ、宇宙も存在しません。私がここに来たのは、他でもなく、宇宙大穹が解体する時に、再び法を正す中で衆生を救い済度するためです。

実は旧勢力の全ての行ないは、宇宙の生命の本能的な自分を救う行為に過ぎず、何の役にもたちません。毎回大穹が終焉を迎える前、その時の衆生もこのようにしましたが、かえって解体を速めたのです。つまり、法を正す中で、衆生は法を正すことに対して態度を示すことしか許されません。そして、彼らが残されるかどうかは、位置が新たに配置しなおされる時、法を正すことに対して示した態度の度合いによって決まります。言い換えれば、これも成、住、壊、滅の最終段階における衆生の振る舞いに過ぎません。

私がいきなり大穹の中、下の層に現れた時、大穹の中の高次元の生命はそれが見えたのです。私は何もないところから積み上げたのであって、粒子による組み合わせではありません。なぜならば、私には粒子がないからです。ご存知のように、私はいきなり人間の所に来てはいけません。もし身体が非常にミクロ的なもので構成されているのであれば、宇宙の全てに影響を与えてしまうのです。つまり、どの次元の生命であろうと、下の宇宙に入る時、その宇宙が壊滅されてしまいます。なぜならば、物質がミクロ的であればあるほど、そのエネルギーが強く、その放射性も強いのです。神のエネルギーは意識があり、慈悲深いにもかかわらず、全てを変えてしまいます。ですから、一層一層と転生しなければならず、その次元の粒子の表面を備えてから、はじめてその次元に留まることができます。しかし、皆さん考えてみてください。こうなると、歳月はあまりに長いのです。私は

このように一步一步入って来たのです。

私だけではなく、大穹内にいる神々の多くがこの世に下りて来ましたが、彼らもこのように一步一步と下りて来たのです。天体の中から来た多くの異なる次元の神々は、その目的が大穹を救うところにあります。人間にとって、彼らは皆極めて高い次元の生命であり、この全てを救おうと願を立てました。当時、確かにたくさん来ました。元々の願は良いものですが、それは彼らには不可能なことです。できないだけでなく、元に戻ることもできなくなりました。実は誰であろうと、三界に入ったら永遠に元に戻るができなくなります。しかし、いくらたくさん来ても、この大穹の最も高い所にいる生命たちはこれを見て、誰にもこのことができないと分かっています。それらもずっと私のことを見ていました。それらは上から非常にはっきりと見えたのです。「あ、この人ならできます」。私の生命を構成したものが宇宙の他の生命と違っており、どんなものでも、その本質を変えることができないとそれらは気付いたのです。そこで、それらは私を選びました。実はこの世に多くの神々が下りて来ました。

それらは私を選択しましたが、私が一体誰であるかを知らないのです。それでは、なぜ、私はそれらが歴史上に按排したことの一部に同意したのでしょうか？この中に非常に重要なことが絡んでいるからです。ご存知のように、先ほど大法弟子が三種類の人からなっていると話しましたが、その中の一部は縁を結びに来たのであって、その数は相当多いのです。彼らは遥か遠い天体からここに縁を結びに来て、遥かに遠くて膨大な天体の多くの生命を代表しています。彼らは衆生が選んだ代表として地球に縁を結びに来たのです。なぜなら、法を正すことがここで行なわれるからです。私が参与しなければ、皆さん考えてみてください。宇宙の最も高いところにいる生命は他の人を選んで、縁を結んでしまい、それらの遥か遠い天体から来た神々は、他の人を選んで縁を結んでしまいます。これはたいへんなことです。もし、旧勢力が大穹を更新するための全てのことを皆念入りに他の生命に按排してしまえば、それではたいへんまずいことになり、これは間違っただけで縁を結んだのではありませんか？ もちろん、こうなっても、それらは私が法を正すことを阻むことができません。しかし、ある深刻な問題が現れます。一旦人を救い済度することが始まる時間になると、それらの選んだ人がやり始めます。その人にはできませんが、私も本格的に法を正し始めます。それらはきっと私がそれらを妨害していると思い、この旧宇宙の全ての生命を使い果たしても、私を消滅しに来るのです。それらはきっと私をそれらのことを破壊しようとするものとして消滅させようとしませんが、誰も私を消滅させることができず、誰も私

が法を正すことを阻むことはできません。そういう場合、皆さん考えてみてください。どういう状況が現れるのでしょうか？ 法を正すことの手速は決して影響されてはいけませんので、それらが阻止しようとするれば、私はそれらを一掃します。瞬時に壊滅させ、いくら多くの生命が参加しても、消滅してしまいます。皆さん考えてみてください。私は衆生を救済済度しに来たのではありませんか。皆消滅してしまえば、誰を救済済度するのでしょうか？ ですから、歴史上、それらが私を選んだ時、それらを救済済度することを配慮して、反対しませんが、私が誰であるかということも、それらに知られてはいけなかったのです。このようにして、それらは人類の歴史上の全てを含む大穹の中の全てを按排しました。法を正すことが始まる時、それらにとって、これも一つの試練だと思います。なぜなら、それらがやった全てがみな新宇宙の基準に到達することのできないことであり、私はそれらをゲームと見做しています。遊びたければ、お供します。それだけに過ぎません。本当に法を正すことはどのような様子なのか、それはまた別のことです。決してそれらに新宇宙の様子を知らせません。法を正す中で、全ての生命も漏れてはならず、それらは私を按排したから、私を済度したと思い、自分に功績があると思っています。法が正された後の宇宙の状態、それら自身の状態、それらは自分のほしがっているものを得ようとし、保留したいものを保留しようと思っています。皆さん考えてみてください。新宇宙を純金に喩えるとすれば、不純な生命が一つでも中に入ってしまうとすれば、新宇宙は不純になるのではありませんか？ このようなことがどうして許され得るのでしょうか？ あらゆる生命も法を正すことから逃げ出すことができず、誰にもできません。天体大穹の中の全ては皆その中にあります。つまり、古い勢力がどのように按排しても、好きにやらせればいいのですが、最終的にこのことを行なう時、決してそれらの要求に従ってはいけません。そこで、今日この古い勢力が、どうしても私にそれらの按排に従わせたいために、この全ての抵抗力が現れました。この抵抗力がいくら強くても、実は私が法を正すことの実質に影響しませんでした。しかも、手速は同じように速く、同様に私の要求に従って行なわれており、新宇宙は完全に大法の基準に従って全てを築いています。実は、古い勢力は他でもなく、法を正すことがまだ到来していないこの空いている時間の中に演じていて、大法弟子もこの間で法を守り、衆生を救済済度しており、旧勢力が利用した邪悪で次元の低い生命も、ここで大法弟子と衆生を迫害しており、次元の低い邪悪な生命に操られている悪人も、この間に悪事を働いています。

この古い勢力が按排したこれらのことは、人類のところでどのぐらいの時間が経過したのでしょうか？ 二つの地球の時間です。大法がこの世で伝わったこと

があると以前話したことがあります。多くの学習者はそれがいつなのかと私に聞きました。つまり、前回の地球で伝わったのです。なぜでしょうか？ 前回の地球は今回の地球のために行なわれた実験であり、旧勢力は彼らが最終的に按排した更新に問題が起こらないように、前回の地球で既に実験を一回行ない、問題がないように、ずれがないようにしたのです。なぜこれほど長い時間をかけて実験したのでしょうか？ 昔、地球には人類のような生命がいなかったからです。私はなぜいつも宇宙人の話をするのでしょうか？ 今まで地球がどれぐらい更新されたかにかかわらず、地球にいる生命、この主な生命は皆、宇宙人のような生物でした。それぞれの時期によって違いますが、皆人間の形象ではありませんでした。

歴史上、神はどうして自分の姿かたちに似せて人間を造ったのでしょうか？ これは修煉界においても謎です。皆さんに教えますが、ここで法を伝えるため、法を聞く衆生が法を聞くに値する形象でなければならぬからです。動物がここで法を聞くことは、大法に対する侮辱であり、許されないことです。もし大法を伝えるためでなく、この生物を人間の形象にした神がいれば、全ての神々はその神を消滅させます。それは神を侮辱するに等しいからです。法を正すために、神は自分の姿かたちに似せて地球の人類を造りました。東洋の人は東洋の人の形象をしている神が造り、西洋の人は西洋人の形象をしている神が造り、更に黒人の形象をしている神は黒人を造りました。他の人種も他の神が造ったのです。当時、皆自分を造ったそれらの神を主と呼んでいました。しかし、現在の人の90%は高い次元から来た生命で、多くの生命は次元が非常に高いのです。彼らはただ神が当初造った人間の皮を利用しているだけで、彼ら自身が人間の生命を造った神と直接的な関係はありません。その時、私は一つ目の地球で法を伝えた時に、それほど大きな法を説かなかったのです。なぜなら、それはただ実験のためだったからです。説いた法はただ法輪世界に衆生を済度していくだけで、その時済度された衆生は皆、法輪世界にいます。その時の地球は最後まで存在させましたが、科学技術が相当発達していて、月はその時に上に送られたのです。しかし、工業の発達により、当時の空気、水、土壌、植物、人間の食物など全てが変異し、最後には人間まで畸形になり、地球上のエネルギーも消耗し尽くしてしまい、その期の人類も終わってしまいました。

今期の地球は一億年前から始まったものですが、在席の人の中に、教科書からそれが35~45億年前だと教わったため、そう思っている人がいます。皆さんに教えますが、地球の一期は一億年であり、前回の地球も一億年でした。しかし、

『轉法輪』の中でも皆さんに説きましたが、地球上の文物に数億年、ひいては二十億年前のものがあると説きました。私はただ人間に先史文明の存在を教えただけで、人間はそれぐらいのことしか知ることができず、この一億年の歴史の中でも、人類は幾度となく先史文明を創造したのです。地球のこの位置にあった以前のそれらの星も、幾度となく解体し、また再び造り直されました。宇宙の中の多くの星が解体した後、空中に漂い、塵埃と小さな星々を形成しました。膨大な天体の中で、星は絶えず解体され、絶えず新しく組み直されています。星の解体は即ち爆発です。地球も、以前の地球が絶えず爆発してから、次の地球が新しく組み直されています。一つが爆発したら、一つが組み直されるのです。宇宙空間には多くの塵埃があります。中には非常に大きなものがあり、大きな石のようなものもあって、数平方キロメートル、ひいては百平方キロメートル以上にも達するのです。全ての星に文明が存在したことがあり、以前の地球にも文明がありました。ですから、多くの完全に爆発していない大きな物体に過去の生物の文明が残ることがあります。地球を再び造り直す時に、これらの宇宙の塵埃をかき集めて、新しく造られた地球に以前の地球または他の星にある文物、文明遺跡が残っていることがあります。現在の地質学者と歴史学者にとって、今日私がこれを説かない限り、彼らはどんな方法を用いても、この地球の物質がいつの年代のものか解き明かすことはできません。先ほど、この地球は一億年の歴史があると私は言いましたが、現在でちょうど一億年になり、以前この位置にあった地球と同じ年齢になりました。もちろん、人類はこの一億年の間に何回もの文明を経験し、道徳が墮落したため、幾度となく神に消滅させられました。現在の人類のいわゆる文明は旧勢力が故意に按排したもので、本当の人類の文化ではありません。

なぜ、法を聞きに下りて来る神のために、法を伝える際に直接人の皮を造らず、長い歴史以前から人を造ったのでしょうか？ 神が人間を造る時、自分の思想意識の中に入れてはならないということを皆さんは知っておくべきです。なぜなら、そうすると、それは完全な神になり、人間ではなくなるので、それはしてはいけないことです。人間に神の形象が備わっていても、神は人間を同類と見做していません。なぜなら、人間の行為は神の行為と全く違うからです。では、当初の人間はどのようなものだったのでしょうか？ 人間の身体の構造は神が造ったものなので、この空間においてそれは最も完璧な人体システムであり、他の星の生命もそれを見て賛嘆しています！ もちろん、人間の三魂七魄も含めて、完全な人体を構成しています。三魂七魄を含まない人体の表面だけのものは、人の皮とも呼ばれています。人の皮という概念は人間が認識している皮膚とはまた別のことです。分子粒子で構成された最も表面的な人体にある全て、骨、血液、内臓など

を含む表面にある全ての人体の構造、つまりミクロから見れば、表面の分子細胞が構成した人間、解剖の時人間の目で見られる全てを、神はこの一連の表面構造を人の皮と呼んでいて、人間の皮膚を指しているではありません。

しかし、宇宙とこの世の全て、及び生命が現す全てに対して、認識能力を持っていない人間は、大千世界の変化に対して、如何なる忍耐力もなく、如何なる形をなす思想もなく、また、宇宙、地球、自然界に対しても、認識し対応する能力はありません。彼はどのように振る舞うのでしょうか？ 皆さんに教えますが、彼は嬉しいことに出会ったら、木に登り笑いが止まりません。笑っている時の様子も非常に怖いもので、全く自分を制御することができません。辛いことがあったら、彼は地に潜りこみ、長いこと自ら抜け出すことができません。腹立たしいことに出遭ったら、結果を考えずにうっぷんを晴らしてしまいます。彼は喜怒哀楽のために死にます。皆さん考えてみてください。このような人は法を聞くことができるのでしょうか？ しかし、当初造った人はこのようなもので、如何なる内涵もなく、如何なる忍耐力もなく、この空間の全ての物事に対して、整った思惟の概念も全くありません。ですから、長い年月を経て、人間の思想を徐々に豊かにし、内涵と忍耐力が備わるようにする必要があります。これは短時間でできることではないので、この一億年の間にこのことをやっています。今日の人間は、何かに遭遇しても驚かず、冷静で落ち着いて理性的に考えることができ、ひいては創造する能力まで備わっています。人間がこのような思想、正常な思惟状態を備えることができたのは、長い歴史の歳月の中に、神が意図的に人に与えたからです。この過程は、皆さんに教えますが、五千年前まで続いていました。

この五千年、つまり中国の半神文化に入ってから、人間が法を受け入れることができるように、その思想を系統的に整え始めました。人間の空間において理は逆になっていますが、宇宙の大法は正なのです。私が法を説く時、三界以上の異なる次元で聞いた法理の内涵、文字、表現形式も異なっているにもかかわらず、法理は上から下まで貫いているものです。それは昇華した境地によって生み出された違いであり、ずれではありません。もし私が人間のところでこのような内容を説き、天上では別の内容を説いていれば、皆さん考えてみてください。法は圓容ではなくなります。それではいけません。法を正す中で、人間のこのところで説いた法は、必ず宇宙全体と対応していなければなりません。私が法を説いている時に、全ての次元での私も法を説いており、全ての次元の衆生も法を聞いています。

それでは、人間が法を聞く時に、それが分かるような思想はどのように造り出され、整えられたのでしょうか？ 法の説き方に従い、人類の文化と人間の考えを造るのです。全世界の人は皆徳とは何か、信じるとは何か、善とは何か、悪とは何か、良いことと悪いことについて知っていますが、これは最も基本的なことです。中国では更に具体的に表現され、その内涵はもっと深いのです。なぜなら、法は中国で伝えられ、事がそこで行なわれるため、そこで本当に法を認識し理解することができるような、豊かな文化を創造しなければなりません。以前皆さんに話したことがあります、歴史上、私はずっと多くの弟子と縁を結んできました。縁を結ぶことは、ただの表面的な目的であり、縁を結んだ後、大法弟子は私と一緒に、人類の文明と大法が必要とする文化を造るという責任も負っています。なぜなら、歴史上普通の常人が、大法を伝えるために造られた人類の歴史に何か文明や遺跡、学説を残そうとしたら、それは絶対許されないことだからです。ですから、歴史に残った全ての文化は皆、私たち大法弟子がしたのであって、もちろん師父が皆さんを導きました。人類の歴史はあたかも芝居のようです。皆さんが国王から庶民まで、英雄から強盗まで、(皆笑って) 文人、著名人から英雄まで、全てを皆さんがやったのです。皆さん笑わないでください！ 強盗を演じる人がいなければ、今日私が法を説く時に、人間は強盗が何か、強盗の行動がどういうものか、その考えや感情がどのようなものか、強盗がどういうイメージなのか分かりません。法の中に空白があってははいけません。

皆さんは『三国演義』をご存知でしょう。『三国演義』の中で「義」が説かれました。一つの時代を経て、三つの勢力がお互いに勝負を争う中で、十分に「義」の内涵を表しました。しかも一つの時代という長い時間を経て、「義」の深層文化を表したため、今日法を伝える時に人類ははじめて、「義」に対して深く認識し、義とは何かを知り、その表面と内涵から派生した関係と深層における反映を知ることができました。人間はこの字の表面を知るだけでなく、内涵など全て分かなければなりません。もちろん、『三国演義』の中で、人間の知恵と計略などの内涵も表しました。

南宋の岳飛に現れたのは「忠」なのです。「忠」とは何か、ただそれを説明するだけではいけません。一つの時代という過程を経て、やっとその真の内涵と深層のつながり及び行為の表れなどを人々に理解させました。

歴史上、また諸子百家があり、孔子の中庸思想に提唱された、仁、義、禮、智、信などがあります。釈迦牟尼、老子、イエスの出現によって、人々は今日正しい

信仰と修煉とは何か、佛、道、神とは何かを本当に認識することができました。歴史は今日の人類の思想を豊かにし、人々が法を認識し理解し、法を得ることができるようにしています。人類の全ての歴史の過程は皆このような基礎を築いており、つまり、大法を伝えるために人類と人類の文化を造ったのであり、法は人類の文化に合わせながら説かれているのではなく、まして人類の文化の産物でもありません。これがこの五千年の間に私たちが行なったことです。

ここまで話しましたが、最も適切に表現すれば、人類社会は芝居のようです。一つの王朝、一つの時代は、幕が開かれたように、一つの王朝が演じ始められます。一つの王朝が終わったら、幕が閉じます。再び幕が開かれ、王朝が改まり時代が変わります。一つの王朝、一つの時代、更に一つの王朝、一つの時代、このように舞台上で演じられ、縁を結び、歴史を残し、人類に必要な文化を造り、一幕一幕が演じられています。なぜ中国というところでは王朝と呼ばれ、中国以外の地域では皆国家と呼ばれていたのでしょうか？なぜ、彼らの最高指導者は王と呼ばれ、中国では皇帝と呼ばれていたのでしょうか？皆さんに教えますが、これは一つの言葉と文化による違いではありません。なぜなら、人類が大法のために造られ、大法がこの芝居の主軸であり、衆生の存在は全てこの主軸をめぐっています。ただ人々は皆、芝居の中の枝葉であるトラブルや衝突に迷わされ、芝居の主題、人生の目的を忘れたのです。この芝居の舞台は中国です。

一つの王朝、一つの時代が続き、各王朝の人はそれぞれの王朝に来た天人であり、遙か遠い天体から来た代表であり、法が正される中で、そこの衆生が取り残されないように、そこの無数の衆生を代表して、ここに縁を結びに来ています。縁を結ぶとき、彼らは持ち込んだ文化を残しました。縁を結んだ後、来世は他の地域に転生し、大法が伝えられる日を待っています。全ての王朝は皆このようであり、全世界の全ての民族は中国で転生したことがあります。各国の人々を含め、最近、大法が伝えだされてから来た大量の上界の生命を除き、歴史上各国の人は皆中国に転生したことがあります。どの国の人であるかにかかわらず、あなたは地球でまず中国人になります。皆さんの転生の始まりはそこだからです。ここまで話したので、皆さんに教えますが、実は中国という国の国家形式と内涵は皆、存在しないものです。皆さんはこれが人を驚かせるような話だと思いますか？実は中国の文化は全世界の人々が各時代に残したのであって、縁を結んでから、他の地域に転生しました。例えば、現在のアメリカ人は明の時代の人です。今のアメリカ人は道が好きで、まだその時の観念の現れを持っています。明の時代は道の最頂点に向かっているときで、一部の地域では、ほぼ全ての家に炉が設けら

れていました。イギリスは唐の時代、フランスは清の時代、イタリアは元の時代、オーストラリアは夏の時代、ロシアは周の時代、スウェーデンは北宋、台湾は南宋であって、日本は隋の時代です。当時、各時代の人々が中国から離れて、転生しにいった地域に今の国家はなく、まだ未開発のところでした。ですから、多くの方は世界各地に散らばって転生し、近代になってやっと元のところに戻ったのです。この時代の方がここ、あの時代の方がそこ、という具合でした。ですから、厳密に言えば、どこが中国なのでしょう？ 誰が中国人なのでしょう？ 中国の本当の意味は存在していないのです。

しかし、今、存在するようになったのではありませんか？ 国と呼ばれるようになり、王朝もなくなったのではありませんか？ 実は現在も存在していません。最後の芝居になり、法を伝える時になると、全世界の私と縁を結んだことのある衆生、或いは最も法を得る可能性のある人、そして法が伝えだされた時に負の作用をする人々は、皆中国に転生し戻って来ました。法を得る人であろうと、破壊する人であろうと、皆が法のために来ており、法のために生じ、法のために成されたのであって、全て揃ったのです。ですから、現在の中国人は最も複雑であり、そこに法を正す時期のために来た全世界の正の生命と負の生命が集まっています。しかし、正の働きをする人であろうと、負の働きをする人であろうと、法を正す時に旧勢力の按排を認めなければ、衆生が正しく法を正すことに対処することさえできれば、淘汰されない可能性があります。法を得ていれば、私はその人を救い済度します。以前、世の中になぜ民主主義が現れたのかについて話したことがあります。その根本的な原因は、各民族、各天体から来た王が皆中国に転生したので、誰がまだその王と称されることができのでしょうか？ 最後に、旧勢力の中のそれらの高次元の生命は「彼ら人間に自分で選ばせましょう」と決めたのです。選ばれた人を王と呼んではならず、大統領と呼びましょう。選ばれても、王様のような処遇を与えず、悪くなったら、批判してもよいし、更に悪くなったら、弾劾し改めて選ばばよいのです。これが高次元の生命が民主主義を按排した本当の原因です。また他の要素もあります。人間のところでの現れに、人間という次元の理の現れもあり、人間はその経緯を知らないのです。ですから、中国の人々は見た目では大したことはありませんが、それが近代の業力の増大によってもたらされたものです。この皮はあまり美しくなくなりましたが、中の内涵は非常に大きいのです。皆さん考えてみてください。その衆生が消滅させられたら、なんと恐ろしいことでしょう。彼らが代表している、そして彼ら自身が対応している空間と衆生は皆、非常に重要で膨大な生命群なのです。

ここまで話しましたので、ついでに触れておきますが、先ほどこの地球は一億年の歴史しかないと言いました。おおよそ、この地球の一億年は二つの大きな時期に分けることができ、五千万年を一つの時期としています。前半の五千万年は巨人、小人、中人が同時に存在する時期でした。巨人の身長は平均五メートルでした。中人は現在の人類で、平均して二メートル足らずでした。小人は数寸しかありませんでした。当時神が人間を造った時に、なぜ同時にこの三種類の人を造ったのでしょうか？ この三種類のどれが地球で最後まで生存し、法を得ることに適するのかということを試すためでした。この五千万年の間に、世界を認識する人間の能力を造りながら、どの種類の人を残すかを決めていました。最後に、巨人がやはり合わないと分かりました。その体が大きいので、地球の距離は相対的に短くなり、時間も短くなりました。また巨人の物的資源に対する消耗も地球と比例していませんでした。その後、小人も全体とバランスが合わないと感じました。地球全体が皆森林だったので、小人がそれを開拓する時大変難しかったのです。その時に土地は一つもなく、今日のような文明を創造することは彼らにはあまりに難しいことでした。同時に地球の時間は小人にとって長すぎ、距離も長かったのです。小人にとって、大洋を渡ることはあまりに難しいことでした。ですから、小人も適していませんでした。このように、巨人と小人は淘汰されました。すぐに淘汰されたのではなく、五千万年以降、徐々に歴史から淘汰されたのです。巨人が最終的に私たちの視野から消えたのは、二世紀前のことで、つまり二百年あまり前、巨人はやっと消えました。一方、小人は七、八十年前まで、まだそれを目にした人がいました。近代になってやっと姿を消しました。全ていなくなったということではなく、他の空間に行った者もいれば、地下に行った者もいます。彼らは自分が淘汰された人だと分かっているのに、現代人と接触しなくなりました。

ここまで話したので、私は歴史上の二つの謎を解き明かしましょう。ピラミッドがどのように作られたのか人類は分かりません。あれほど大きな石を人間はどうやって運んだのでしょうか？ 身長五メートルの人がそれを運ぶとき、今の人間が大きな石を運ぶことと同じことです。身長五メートルの人がピラミッドを作った時、今日の私たちがビルを建てることと同じです。もう一つの謎ですが、どうして、恐竜のような大きな動物がいたのでしょうか？ 実はそれは巨人のために用意したものでした。身長五メートルの人が恐竜のような大型動物を見る時、現在の私たちが牛を見ることと何の違いもありません。異なる人間には異なる種類のものを用意しなければなりません。地球にある全ては皆人間のために造られ、人間のために生成したのです。ついでに教えますが、動物を人間と同じにしては

ならず、動物は決して人間と同じように扱われてはいけません。動物に慈悲の心を持ってもいいし、可愛がってもいいのですが、決して人間と同じように対処してはいけません。人間は神に造られたのであって、動物を人間と比べることは人間を侮辱し、神を冒瀆するに等しいのです。歴史の真実は間もなく人間の前に現れますが、その時、人類の宇宙、生命、物質に対する本当の正しい見識が現れます。現在、考古学の研究に携わっている一部の人は、人間の骨を恐竜のものだと思い、ピラミッドに対しても現在の狭い見識を持って推理し考えています。実は科学の現在の物質世界に関する認識の多くは間違っており、その立脚点まで間違っています。万有引力の説さえ間違っています。機会があれば、これらのことを人間に説きたいと思います。

先ほど、私は人類の歴史の蓋を開けました。(拍手) 歴史を話すためではなく、人類がこの大法のために造られ、生成されたため、私は歴史を話す時に皆さんに法を説いており、この全ては法と関わりを持っているのです。多くのことは大法弟子にとって、非常に重要なことです。特にこれらのことと皆さんが現在行なっている全ての中で、皆さんは大法に対して、責任を持っており、大法弟子の深くて重大な要素が含まれています。その目的は今後法を正す中で、更に良く行なうよう期待しているところにあります。必ず努力しなければならず、良く行なわなければなりません。なぜなら、あなたがしようとしているのは全てを圓滿成就させることであり、あなたに責任があり、あなたは衆生を救い済度するという使命と責任を持って来たからです。歴史上、皆衆生を普く済度すると言っていますが、誰がその本当の意味が分かるのでしょうか？ 皆さんこそ、本当に衆生を救い済度しています。皆さんこそ、これほど偉大なことをする資格があります。くれぐれもこの機会を逃さないでください！

私の話はこの辺にしましょう。どうしても聞きたい問題があり、それが非常に重要だと思えば、提出してもよいのです。次の時間を利用して、皆さんに解答します。皆さんの仕事のこと、生活のこと、修煉の中の個人に関わる具体的なことなら、それは皆さんが個人修煉の中で、向上する要素と条件であり、自分で悟り、乗り越える関です。自分が悟って分かった時の威徳はやはり皆さんに残しましょう。私がそれに解答したら、あなたのものではなくなるからです。

弟子：正念を発する時の口訣と手印は、それぞれ固定して対応しているのでしょうか？

師：違います。二種類の口訣は随意に二種類の手印に対応することができます。

弟子：法を正す中、天目が見える学習者の言うことに従い、法をもって物事を量りません。

師：何時であっても、集団で何かをする時も、個人で法を実証する時も、全て大法を主とし、全て法をもって量るべきです。決して誰その天目で見えたことを基準にしてはいけません。弟子たちが見たことの多くは真実であっても、局部的なもので、同時に次元による制限もあり、時に執着によって作られる虚像もあります。皆さんに教えますが、この宇宙のいくら次元の高い神であっても、宇宙は彼にとって謎であり、彼までも宇宙で法を正す時に救済される対象です。彼らに見えたもの、分かったことは彼らのいる次元のことであり、宇宙全体の真相ではなく、ましてや法を正す中で大法弟子がしようとしている本当の最終的な真相でもありません。それらの神が何をやっているのかが見えても、彼らが何を言ったのかが聞こえても、信じてはならず、大法と師父の要求に従って行なってください。全てのことは正しく行なわれなければなりません。それは比類のない重大で偉大なことです！ 誰かが見たことを指針としてはいけません。

大法弟子の間で、何かをする時、議論があっても必然なことであり、異なる意見があっても当然なことです。なぜでしょうか？ あなたのその執着心を表し、それを取り除くためです。しかし、議論の中で長く対峙していけば、それでは問題になります。それは皆さんが皆内に向けて探さず、自分の問題をみていないからです。皆大法のために責任を負いたいと思い、出発点は良いのですが、皆自分のことに注意していなかったのです。自分に何かの常人の心がある可能性が高いのです。くれぐれもこれらのことに気をつけてください。

今日、法を正すことがここまできており、大法弟子の皆さん、師父は皆さんが法を正す中で行なった全てを認めています。私は1999年7月20日に、既に7月20日以前の学習者を全て所定の位置に押し上げ、皆さんの最高位置まで押し上げました。以前皆さんに教えたことがあります。皆さんの変化は最もミクロ的なところから、最も本質から始まったものです。私の修煉は速すぎると思う学習者がいます。当時、皆このような感覚がありました。皆さんの圓滿成就の過程、皆さんの最後の修煉における向上は、皆さんがこれから法を実証するためのものです。ですから、個人修煉の段階で法をしっかり勉強すれば、迫害の中で法を実証

し、衆生を救い済度することも良く行なうことができ、表面の身体も絶えず法を正している中で高い次元に向かって同化し、人間の表面に残ったものはますます少なくなります。それに対し、良く行なうことのできなかつた人、逆の方向に向かった人、表に出て来なかつた人は、見る見るうちに、彼らの神の一面の身体は、一層また一層と溶けてしまいました。もちろん、事はまだ終わっておらず、法を正すことがまだ終わっていないので、皆さんにとって再び良く行なう機会はまだまだあります。そうですね。迫害が一日でも終わっていなければ、その一日は即ち機会です。きちんと利用して、更に良く行ないましょう。早く戻って来てください。二度とこの機会を逃さないでください。精神的な重荷を背負わず、間違ったら再び良く行なえば良いのです。以前のことは考えないで、これから如何に良く行なうかを考え、自分自身と衆生のために本当に責任を負うようにしてください。

また、ついでにお話しますが、仕事の中で意見が違った時、私の家族に電話をして意見を聞きたがる学習者がいます。皆さんに教えますが、私の家族も修煉者であり、彼らも多くのことに対してははっきり判断することができず、ひいては間違ったこと、間違った話をする可能性もあります。彼らが話したことは法ではありません。今後、このようなことを二度としないでください。皆さん自身が威徳を樹立する機会、自らが修煉によって向上する機会を拒否しないでください。法を正す中で、皆自分の道を歩んでおり、それは即ち、大法弟子一人一人が歩んだ歴史です。

これぐらいにしましょう。問題があれば、引き続いて出してください。

弟子：師父はなぜ、よく子供の修煉者を連れて、天上で仕事をされるのでしょうか？

師：彼らには大人が後天的に形成した観念がなく、本性が純粹であり、発したエネルギーも常人の考えに影響されません。他の方面から言えば、能力の大きさは常人の年齢に制限されることはありません。

弟子：香港のような放蕩三昧の生活環境の中で、どのように人々に法を得させるのでしょうか。

師：皆さんは大法弟子であり、救い済度しているのは邪悪な虚言に毒害されている衆生です。大法に反対さえしなければ、法がこの世を正す時に淘汰される危険

から免れることができます。法を破壊してはいませんが、良くない或いはあまり良くない生命に対して、現在一切関わりません。なぜなら、次の段階にまた修煉する人がいて、次の段階の衆生は法がこの世を正す時に自らの位置を決めなければなりません。現在、重点的に救済済度しているのは、邪悪な虚言によって毒害された人々です。衆生を救済済度する中で、消滅されたそれらの非常に邪悪な生命も、法に対して破壊活動を行なった生命だけです。それらと同じ基準にいる多くの生命は、法を破壊しておらず、このことに参与していないので、一切関わりません。なぜでしょうか？ 法を破壊しなかった生命は、次に法を正す時、彼らに対しても機会が与えられます。同時に次の段階にまた修煉する人々がいますが、それは次の段階のことです。

現在大法弟子が行なうべきことは、大法に対して責任を負うことであり、常人社会のことに触れないでください。真相を伝える時に次元の高い話をしないでください。奥深い法とは何かを人々に分からせるためではありません。非常に良い人の場合、話してもいいのです。真相を伝える時、私たちは迫害されていて、ただ煉功して良い人になろうとしていると普通の人に教えれば、人々はそれを理解することができます。真相を知った人々は全ての宣伝がでっち上げであると分かり、自然にそれらの卑劣さと邪悪さがみえてきます。人々はそれを知って、憤るのです。一つの政府がどうしてここまで卑劣でありえるのでしょうか？ しかも、その原因はただ良い人になるためだけで、これほどひどく迫害されています。最も分かりやすい道理から常人に話せば、彼らはそれを受け入れ、理解できるだけでなく、誤解も生じにくいのです。皆さんは長く修煉していて、法に対する理解は相当深いのです。高い次元からの法に対する認識を話せば、常人は理解しにくいだけでなく、誤解も生じやすいのです。皆さんは長い修煉の過程を経て、やっと今の深い理解を得ましたが、人々にいきなりここまで理解させようとしても、彼らにはできません。ですから、あまり次元の高い話をしないでください。宗教を信じている人々を相手に真相を伝える時にも、次元の高い話をしないでください。ただ私たちが遭っている迫害を話せばいいのです。彼らがその他の信仰についての問題を聞きたくなければ、私たちも信仰のことに触れず、煉功をしているとだけ話せばいいのです。現在人を救うことも非常に難しいことであり、彼らの執着に沿って説明しなければなりません。彼らを救うために、彼らの考えに如何なる障碍ももたらさないでください。

弟子：私は法を得て数カ月しか経っていない弟子ですが、私は1999年7月20日以前に法を得た弟子と何が違いますか？

師：旧い勢力は大法が迫害されている時にも、大法弟子が大法に入ることを按排しました。これほど厳しく迫害されている中で入って来た人は、その威徳がすぐにでき上がるとそれらは思っています。しかし、次の段階で圓滿成就し、この範囲に属しない人もいます。ですから、今誰がどのような状況なのか、はっきり説明することはできません。いずれにせよ、大法を得たことは、つまり幸い中の幸いです。必ずこの時間をしっかり利用して、自分自身が真に修煉し法を得て、向上できるようにしてください。誰もが法を得られるのではなく、誰でもここに入って来られるのでもありません。これは宇宙の大法だからです。当時大法を伝えた時、旧い勢力はなぜ、かたくなに第一回目に法を得る人数を一億人と制限したのでしょうか？ その一億人も私が固く要求したことの結果です。それらが当時決めたのは七千万でしたが、私がほしかったのは二億人でした。もし一回目に二億人が法を得たなら、今回のいわゆる邪悪な試練も成り立たなくなるとそれらは分かっていたので、かたくなに一億と制限しました。その中の多くの人々は法を得たばかりでしたが、それらは待ってられないほど急いで、いわゆる魔難を始めたのです。これらの人にとって、非常に不公平なことです。最近法を得た人がどのケースなのか、私は話していません。皆さんもこれらのことを考えずに、行なうべきことを行なってください。

弟子：師父、こんにちは。お伺いしたいことがあります。新経文の中で師父は「新三才」とおっしゃいましたが、その意味がよく分かりませんので、師父の説明をお願いします。

師：実は、あなたのような年齢の人なら、知っているはずですよ。昔の私塾、または1950年以前に学校に通ったことのある人は、皆学校で三字経を学んだことがあります。三字経の中にそれがああります。中国文化の中にも三才の説があり、道家の文化にもよくそれに触れています。「三才」は実は、天、地、人のことを指しており、「新三才」はつまり、新しい天、新しい地、新しい人のことです。

弟子：師父、こんにちは。お伺いしたいことがあります。儒家の思想は中国の全ての時代で続いていましたが、儒家の思想と大法が中国で伝わることとはどのような関係なのでしょう？

師：先ほど既に話しましたが、儒家はただ人間の一つの思想を築いただけです。つまり、中庸とは何か、人々が信じ、守るべきである、仁、義、禮、智、信など

の具体的な意味を人々に分からせるためです。ただそれだけです。人類の各時期の文化は皆、人々が法を得るときに備わるべき思想を築いているだけであって、最終的に法を得る時に法を理解し、法を聞いて分かるようにするためです。

弟子：今私たちは大量の大法の仕事をしていて、時間があまりありません。毎日二時間の煉功は私自身も保証できませんが、煉功が少なくなっても大丈夫でしょうか？

師：大法弟子の皆さん、お疲れ様です。本当にお疲れ様です。私はこれ以上皆さんにあれこれするようにと要求するに忍びません。多くの人が積極的に多くのことを担当しており、毎日の睡眠時間も短いのですが、その上、また仕事しなければなりません。本当に難しいのです。しかし、いくら難しくても、やはり時間をさいて法を学び煉功すべきだと思います。修煉している人は煉功しなくてははいけません。煉功は向上の補助的なものですが、それも法の一部です。更に煉功はあなたの身体の変化全体に関わっています。もちろん、やるが多すぎて、あまりに忙しく、煉功の時間が少なくなったり、或いは数日煉功しなかったりしたら、しばらくしてから、その分を補えばいいのです。もし本当に忙しくて煉功の時間が確かに少ない場合、師父にはあなたのためにそれをする方法もあります。しかし、皆さんが忙しくなったり、苦勞したりすることは大法弟子の威徳だと、私はいつも思っています。将来振り返った時に、それが素晴らしいことだと分かります！

弟子：宇宙で最も高い生命はどのように造り出されたのでしょうか？

師：将来、私は皆さんに最も次元の高い法を説きます。その時、宇宙がどのように形成されたのかをお話する時、このことに触れます。今、それを話すのはまだ早いのです。

弟子：法を勉強している時に、天上の人は五百年ごとに輪廻し、地上の人は百年ごとに輪廻すると読みましたが、それはどういうことなのでしょうか？

師：三界は宇宙の最も低い境界にあります。三界の中は三つの大きな次元に分けられているため、三界と呼ばれています。各次元に三層の大きな天があり、合わせて九層の天があります。更に、九層の天にまた多くの小さな天が分けられているので、それを三十三層の天と呼ぶ人もいます。実はそれ以上あります。この範

圈内では、全ての生命は輪廻しますが、この三界以外の生命は輪廻に入りません。三界内の生命は一世一世に生きる時間がわりと短いのです。地上にいるこの世の人は数十年しか生きることができず、その上の一層の生命は百年から二百年生きることができ、更に高い一層の生命は二、三百年、更に高い一層の生命は三、四百年、最も高い一層の生命は千年ぐらい生きることができます。しかし、いくら長く生きても、最終的に落ちて来て、再び輪廻に入りますが、三界の外に出た生命はもう輪廻しなくなります。

弟子：大法の書籍に修正されたものがありますが、どれを基準にするのでしょうか？

師：誤字などが見つかって、それを修正するのは必要なことです。師がいるから、法が乱れることはありません。中国語のものは最近台湾で発行したものを基準とします。

弟子：今の学校はますます「真・善・忍」から離れており、子供をロボットのようにし、子供を放縦し、人間としての道理を教えず、徳を重んぜず、善も忍もありません。ですから、子供を学校に行かせたくなく、自分で家で教えようとしています。これは偏っているのでしょうか？ 将来、大法の学校があったらと思います。

師：私は今、法を説く時も、現在の科学と結びつけて説いており、人類は既にこのようになってしまいました。現在の学校が教育上、子供を善に向かわせることができず、子供の考えを放縦していますが、現有の知識は子供が将来法を認識することにまだ役にたっています。もちろん、大法弟子の学校があるに越したことはありませんが、まだない時、やはり知識を得させたほうがよいと思います。帰って来て、『轉法輪』を読み聞かせたり、どのように人間として行動すべきかを教えたりすればよいのです。今はこのようにするしかありません。過渡期も非常に短いのです。

弟子：最近の新経文はどうして多くの字が訂正されたのでしょうか？

師：最近発表した六編の経文はみな、私が電話でそれを知らせ、口述して明慧ネットにそれを記録してもらったのです。ですから、間違いがありました。普通なら、明慧ネットが発表してから、私はそれ以上触れませんが、それを見た人から

聞かれてやっとそれを見たりします。特に忙しい時に見直す時間がなかったため、引き起こされたことです。

弟子：私は朝鮮半島から来た者です。大法の下では、全ての人が平等であると思っています。しかし、多くの新しい学習者には文化の違いがあります。この方面のことについてお話をしていただきたいと思います。

師：実は、『轉法輪』が異なる言語に翻訳された時、表面上において法を理解することに影響はありません。特に修煉の中で、法の内涵が表面の文字に現れているわけではありません。あなたが絶えず本を読めば、絶えず法理に対して新しい認識があり、更に多くの法理がみえてきます。実は、法があなたの知恵を開いているので、向上することに何の影響もありません。中国大陸の多くの字の読めない年配の方は、法を勉強することによって字が読めるようになり、しかも、向上する時、何の影響も受けません。

弟子：新しい学習者は文化的な障碍があるため、法を理解することができません。

師：新しい学習者は少しずつ少しずつ理解していきませんが、あなたも新しい学習者に次元の高い話をしないでください。ただ表面的に、如何に心性を高めるか、病気の除去と健康保持のことを話せばよいのです。将来、時間が経つにつれ、本をたくさん読むことによって、自分で分かってきます。

弟子：多くの西洋人が煉功の動作を習いに来ていますが、各年齢層の人が含まれています。師父の説法の録音テープのような、師父の号令をそのままにし、同時に英語の通訳のついた煉功テープを作ってもよろしいでしょうか？

師：いいです。ただ口訣は翻訳しないでください。口訣はつまり常人の言う呪文であり、一文字一文字の音と表現はみな、ある一定の天体の中で連携の作用をしています。翻訳すると、正しい音と内在している要素を失ってしまいます。

弟子：お聞きしたいのですが、これは比較的よくある現象だと思います。つまり、多くの大法弟子が外で法を広める時、相手とよく交流できたなど、感じがいいのですが、家での関わりと大きいのです。例えば、配偶者が理解できないなどです。私の両親の場合、国内である程度の地位もあるので、圧力が非常に大きいと感じています。多くの大法弟子の国内での親族は皆、法輪功が良いと思っています。

すが、私たちが海外で危ないのではないかと心配しています。これらの大法弟子の家族も同時にある程度の圧力を受けているので、法がこの世を正す時、彼らはどうなるのでしょうか？

師：この心を放下すべきです。この期間の中で全ての衆生の振る舞いに対して、法は量っています。もし法を破壊していなければ、問題はありません。もし大法に対して良くない考えを持っていれば、衆生を救い済度するという点から、まず自分の家族に説明し、できるだけ彼らにはつきり説明し、それらの考えを捨てるよう手伝ってあげなければなりません。

弟子：今回の法会の後の演芸に常人も来ますが、人類社会の比較的健全な歌を歌ってもよいのでしょうか？

師：私たちの演芸に常人が来てもいいのです。衆生を救い済度するためです。私たちの法会にも参加していいのです。学習者の法会での発表は彼らにとってもメリットがあり、これは問題のないことです。常人の歌を私たち大法の殿堂で歌ってもよいのですか？ だめです。(拍手) なぜでしょうか？ 常人社会の演芸に参加し、大法弟子が常人の演芸に参加する場合、低俗な歌、政治的なものでなければ大丈夫です。もし、純粹に私たち自身の大法のコンサートであれば、それは純正なものの方が良いと思います。私たち大法弟子が主催したものでなければ、構いません。必ずこの問題を区別してください。健全な歌ならどうですか？ 今、その歌の作曲者が大法を迫害したことがあるかどうかはなかなか分かりません。その人が中国で大法を迫害するような歌を書いたことがあるかどうか、あなたに分かりますか？ 今、皆さんは量ることができません。もし作曲者が大法弟子であり、歌そのものに政治的なものがなければ、大丈夫です。しかし、現在これらのことはなかなか把握しにくいのです。

弟子：大陸の学習者が外に出て法を広めれば、きっと逮捕されるに違いありません。法を広めなければ、法を正す過程で自分の次元に影響するのではないかと心配しています。大陸の弟子はどのようにこのことに対処すべきでしょうか？

師：この二通りの考えはみな間違っています。外に出て法を広めなければ、次元に影響するのではないか、向上に影響するのではないか、圓滿成就に影響するのではないか、これに影響するのではないか、あれに影響するのではないかと恐れており、本当に大法弟子の角度から物事をみていません。大法弟子なら、法を実

証すべきであり、衆生を救い済度すべきです。これらの常人の心があるので、問題が起こりやすいのです。だから多くの問題が起きたのです。

国内の状況は私に全て分かっており、非常にはっきりと分かっています。法を実証しなければ、大法弟子としていけないことだと思います。私はあまり具体的に話してはいけません。多くのことは旧勢力による按排であり、しかも非常に具体的に按排されたのです。現れは非常に複雑です。中国大陸の状況は非常に混乱しているようにみえますが、実は非常に秩序があるのです。

大法弟子が二通りの状況下にいる場合、それらは手を出すことができません。一つは、磐石のように確固としていれば、それらは手を出す勇気がありません。なぜなら、その時、旧い勢力であっても、旧い理であっても、この弟子が正しく歩み、良く行なっている時、それでも誰かが迫害を加えようとするれば、私が決して許さないことをそれらは知っているからです。なぜなら、そのとき、私の周りにまだ無数の正神がいます！ 私の無数の法身も、皆法を正すのです。心配しているのは、弟子自身の心が落ち着いておらず、この執着、あの恐怖心があり、旧勢力はそれを目にしたら、この隙に付け入って迫害します。更に、迫害の中で正念が足りないため、受けた迫害は更にひどくなりました。皆このような状況です。しかも、この部分の学習者の絶対多数は歴史上、私と直接に縁を結んだことのない人です。今回法を伝える時、門が開かれ、旧勢力がそれを阻止することができなかつたため、彼らは入って来ました。しかし、これらの学習者の絶対多数は良く行なってきました。歴史上、縁を結んだことのある人に対して、旧勢力は敢えて、あまりに度を過ぎて迫害する勇気はありません。なぜなら、彼らは歴史上このような苦を嘗めたことがあるからです。大法弟子は、どの部分の弟子であるかに関わらず、皆このように良く行なうことができれば、今回の迫害はとっくに終わりました。良く行なうと言っても、言うだけでできるようなことではなく、私が皆さんに必ずこのようにしてくださいと要求したら、必ずできるようなことでもありません。それは修煉の中で築いたしっかりとした基礎であり、長きにわたって法を勉強したため築いたものです。実は、大多数の人は良く行ないました。良く行なわなかった人は、第三部分の学習者の中から現れてきたのです。良く行なわなかったから、迫害が更に厳しくなり、大法が非常に厳しく迫害される形勢が見受けられました。実はどの部分の学習者であるかに関わらず、師父は同じように対処します。私たちが大陸以外のところで生死を放下すると言っても、それは学習者がそのような環境で、そのような圧力の前で、そのような形勢の下で生死を放下すると言うことと決して同じではありません。私はこれらのことをこれ

以上話したくありませんが、彼らがあ環境で本当に生死を放下することができれば状況は変わります。例えば、逮捕された後、平然として動ぜず、いささかの恐れる心もない大法弟子がいますが、旧勢力は彼を迫害する勇気がありません。なぜなら、この人を殴り殺す以外、どんな迫害も効果がないと旧勢力は分かっているのです、手を出さなくなりました。どれくらいの学習者がここまでできるでしょうか？ 彼らの法に対する確固たる信念が、邪悪を恐れさせるのです。しかし、常人の執着が重く、法を深く学んでいなかったため、多くの受けるべきではない苦痛を嘗めました。「反省文」を書いたり、何かの署名をしたりした人がいますが、私は今回の迫害を認めていないため、このことが終わるまで、彼らに再び機会を与えます。実際、私も目にしましたが、多くの学習者が迫害された後、更に冷静に、理性をもって大法と修煉の厳粛性を認識することができました。同時に、今回の迫害の厳しさをはっきりと認識し、当時のような常人の心を抱いて行動することもなく、これらの心が徐々に放下されたので、彼らの行なったことも、ますます純正になり、良くなり、彼らもますます動揺しなくなり、更に理性的になりました。この迫害の表面現象だけをみてはいけません。法がこの世にやってくる時に、全ての真相が現れます。中国大陸の弟子は素晴らしいのです。

弟子：二つのことについてお聞きしたいのですが、一つは、一部の国外の大法弟子の親族や友人は煉功したことがあります、迫害されてから次第にやめてしまいました。彼らは今どのようにすべきかを知りたいと思っています。もう一つですが、一部の精進している弟子に、時に重い病業が現れています。これが自分自身の業力なのか、それとも邪悪の破壊なのかを彼らは知りたいと思っています。また彼らはどのようにこの問題に対処すべきなのでしょう。

師：一つ目のことですが、どのようにしたいかということは、彼ら自身で決めなければならぬことであり、彼ら自身にかかっています。二つ目のことですが、どんなことにぶつかっても、まず自分をみるのです。これが大法弟子の常人と異なっている最も大きなところ。もし、自分に本当に問題がなければ、それはきつと邪悪による大法弟子に対する迫害に違いありません。特に現在法を正す時期において、大法弟子の業力は既に問題になりません。邪悪生命による迫害をはっきりと認識しなければならず、彼らは本当に悪事を働いています。大法弟子はできるだけ自分の道を正しく歩み、邪悪に迫害の口実を与えないようにしたほうがいいのです。

弟子：新しい宇宙はどんな様子なのかを想像してもいいですか？

師：人類にも変化が起こります。ですから、宇宙から人類まで変化が起こるので、新しい宇宙は古い宇宙の不健全な各種の要素を健全にし、新宇宙は更に完備され、これは今まで、このような法を正す形式をとっていない時には全く解決できないことです。昔、宇宙がだめになったら、それを解体して作り直し、再び発展させ、だめになったらまた作り直していました。法を正すということは、大穹の天地開闢以来、はじめてのことです。ですから、今回の法を正すことを利用して、私は多くのことを変えました。これらは話してはいけないことです。しかし、皆さんに以下のことを教えましょう。なぜなら、人類が宇宙の一部だからです。大法がここで伝えられました。昔ここには人類がいませんでした。いくら解体して再び地球を造ったとしても、ここの主体の生命は皆宇宙人の形象でした。毎回毎回、その外観は大きく違っていました。人間の外観と内在している系統はなく、ましてや人間の考えもありません。現在の人間は大法を伝えるために造られたのです。大法に罪があるそれらの人が取り除かれた後、残った人々には福があるのです。将来、地球人は本当に人間としての形象を持つようになり、つまり、未来の人類が本当に始まります。今回は大法を伝えるために生命の形式を造ったのです。未来にも佛、道、神が世に下りて人を済度し、衆生も法を聞くことができ、済度されるのです。しかし、神が人を済度しに来たのに、十字架に磔にされるようなことは、もうありません。

弟子：私たちが真相を伝える時に、一部の歴史上の人物に触れることがありますが、多くのことの因縁関係を知らないのです、何か注意すべきことがありますか？

師：法を正す中で、皆さんはただ人間の言葉、人類が普遍的に理解できる論理で法を実証し、人類が現在認識できる良し悪しと是非をもって行なえばいいのです。歴史上の誰に言及しても、問題はありません。

弟子：先ほど、師父が大陸の情勢は非常に良いとおっしゃいましたが、それについて例をあげたいと思います。私が接触した親族や友人はほぼ、皆非常に確固としています。天安門に行く時、堂々と出発し、朝行つて、夜帰つて来ます。朝の飛行機で行つて、夜の便で帰つてきます。「法輪大法は素晴らしい」と叫んだだけでなく、横断幕も掛けましたが、何ごとも起こりませんでした。また、九十歳を超えたお年寄りも、毎日外に出て法を広める活動をしています。何ごとも起こりませんでした。いずれにせよ、皆は確固たる信念を持っています。私が知っているところでは、一人だけ連行されましたが、比較的よく対応していたそうです。

彼らに電話すると、情勢は非常に良いと感じます。彼らも、「大丈夫、私たちは皆元気ですよ」と言っています。それを聞いて本当に気持ちがいいのです。

師:現在の状況はこのようです。それらの古い勢力が利用できる邪悪生命は既に、さほど多くありません。大法弟子が正念を発するのを見ると、すぐに逃げてしまいます。皆さんが領事館に請願に行く時、領事館の人は非常に恐れているようです。恐れているのは人間ではなく、人間を操っているそれらの邪悪です。人間のところでの現れとしては、彼らは非常に恐れているように見えます。実は邪悪な要素が怖がっているのです。邪悪が皆根絶され、領事館の人が皆外に出て、法輪功を学びに来たら、中国のあの邪悪な政治の首魁にとって、あまりに恐ろしいことです。ですから、邪悪な生命は懸命に領事館の人を制御し、邪悪が行なった全てを守っています。それにしても、もう守ることはできません。中国の邪悪な首魁がいる都市以外では、邪悪は既に全ての地区を制御することができず、邪悪生命は既に根絶され、残り少ないのです。広範囲にわたる地域では、情勢が良くなっています。皆さんがあの邪悪な首魁に向かって至近距離で正念を発すれば、邪悪による保護は間に合わなくなり、それは気絶してしまいます。なぜなら、それの人間としてのものは既に全てなくなり、この皮は完全に邪悪生命によって支えられています。正念を発することは、彼らを消滅していることです。もし補給が間に合わなくなったら、それは死んでしまいます。前回、マルタにいた時、学習者が至近距離から正念を発したため、それはもう少しで死ぬところでした。このようなことです。それの中には既に人間としてのものがなく、現在理性がなく、人間としての正常な考えもありません。それは私たちのために生きており、人間としての理念がますます理性的ではなくなりました。実は、一部の地区の領事館の職員は既に外に出て、私たちの学習者と接触を始めました。こっそりと資料を受け取った人もいれば、「良くやった！」とひそかに言ってくれた人もいました。

(拍手) これは以前には、ありえないことでした。なぜこのようになったのでしょうか？ 人間を操っている邪悪が消滅されて、人々が冷静に考え始めたからです。人々は、法輪功が一体どういうものかを自分で考えています。なぜこのように法輪功を迫害するのでしょうか？ しかも、暴露された邪悪の迫害や全ての虚言をみて人々は驚き、今みな積極的に真相を知ろうとしています。

弟子:私に二つの質問があります。私たちは「放光明」というテレビ番組を製作しています。この間、視聴者から私たちのニュース番組が硬すぎると言われました。

師：実はあなたのその口調はとてもいいと私は思っています。(拍手) 階級闘争のような感覚もなく、ほど良いのです。口調があまり柔らかすぎても良くありません。実は、私は多くの地区のテレビ局とラジオ局に、ロサンゼルス学習者がアナウンスするときの口調がちょうど良いと話しました。硬くもなく柔らかすぎることなく、とても穏やかです。もちろん、あなたを褒めているのではなく、自慢しないでください。つまり、私たちはできるだけ穏やかにすれば良いということです。常人は何でも言う人がいるので、いろんな味を揃えるのは難しいことです。辛いものが好きな人もいれば、酸っぱいもの、甘いものが好きな人もいます。私たちはこのような穏やかな状態で、人々の前に現れ、このようにします。もちろん、もっと自然になり、リラックスしたほうが良いのです。カメラの前では役者になるので、もうちょっと外観に気をつけたほうが良いと思います。

弟子：もう一つの質問ですが、今大法の番組以外に、常人の番組も作っていて、その中に大法の内容が入っていません。両方の割合をどのように扱えばいいでしょうか？ どれくらいの時間をかけて大法の番組を製作し、大法と関係ない番組をどれくらい入れるべきでしょうか？

師：これは皆さん自身で調整すれば良いと思います。具体的なことは皆さんがやらなければなりません。適切だと思えば、検討してその通りにすれば良いのです。皆さんが今日、法を実証し真相を伝える中でとった形とそれぞれの方法は、各方面において皆非常に良く行ないました。国内に送った一枚のチラシ、一冊の資料、一本の電話やファックス、各種の情報などを軽視しないでください。それらが果たした作用は非常に大きいもので、邪悪を鎮め、根絶するのに巨大な作用を果たし、それは本当に巨大なものです。人間の頭に悪い考えがあるのは、邪悪のどっち上げと宣伝によるものです。人々が分かった時が、即ちそれらの邪悪が根絶され解体される時です。もし、人間が本当に歴大な天体を代表していれば、その人の変化によって大勢の生命が救済されることとなります。これはなんと大きな作用でしょうか！ 実はこれらのことは非常に良く行なわれました。これらのことを過小評価しないでください。もちろん、具体的にどのように行なうのか、尺度は皆さん自身で把握してください。人々に受け入れられるようにすれば良いのです。大法の媒体を常人社会の媒体のような形にしたので、常人が受け入れられるような形にしなければなりません。全て迫害を暴露する文章であれば、かえって、邪悪を暴露し、衆生を救済するという最高の効果を得られなくなります。その対象はなんとといっても、修煉者ではないからです。ですから、番組を豊富にし、もっと人々をひきつけられるようなものにし、人々が見たいようなもの

にすべきです。同時に、中に大法の内容を織り込みます。このようにすれば、常人に対して果たす作用はもっと大きいのです。それを常人の媒体のような形式にするには、常人の内容がなければなりません。その割合については、皆さん自身で判断してください。適度にすべきです。

弟子：長春の弟子は師父にご挨拶を申し上げます！ 師父はいつお帰りになり、彼らにお会いになるのでしょうか？

師：もう遠くないと思います。中国の王朝は皆このように経過してきました。どの時代の皇帝も万歳を唱えていましたが、誰も一万歳になりませんでした。どの王朝も永久不滅になりたかったのですが、永久不滅の王朝はありませんでした。私たちは中国の政権を覆すつもりはなく、このような政治的な要求もありません。私たちは罪もなく迫害されているのであって、私たちを迫害しているあの邪悪な政治集団を暴露しているにすぎません。今回の迫害は実は、中国政府の中の多くの人も反対しています。ただこのような大きな圧力の下で、それを表明する勇気がないだけです。しかし、人間の現れもその人の未来を決めています。大法は全ての人を量っています。繰り返しますが、人類社会は大法のために造られたのであって、人類の歴史上に決して大法と関係のないことが現れることはありません。邪悪な首魁は「共産党は法輪功に勝たなければならない」と言っています。共産党はなぜ、法輪功に勝たなければならないのでしょうか？ 全世界の人も不思議に思っています。共産党は中国の全ての軍隊、警察や政府を握っているのに、どうしてその制御下にいる、何の武器も持たない、ただ良い人になろうとしている民衆に勝たなければならないのでしょうか？ 全く理性のない話です！ 実は、大法が広く伝わる時、人心は善に向かい、社会は安定しますが、それによって、誰がその恩恵を受けるのでしょうか？ 誰が政権を握っているのでしょうか？ これは理性がないのではありませんか？ 私たちは政権に興味はありません。実は迫害が始まる前まで、中国共産党中央政治局の七人の常任委員の家族は、みな法輪功を煉っており、七人の常任委員も全員大法の本を読みました。法輪功がどういうものか、彼らははっきり分かっています。政治闘争の中で形成した嫉妬心、日常的に形成された人と争う悪習により、理性を失わせ、人を許す余裕は皆無になってしまいました。この邪悪な首魁は心が狭く、欲望が大きく、臆病者で、嫉妬心がこの上なく強いのです。国を治めることに全く不案内で、まともなことをする能力は、地方部門の小さな係長にも及びません。理性を失った時、魔と変わりはありません。その元神はまたヒキガエルなのです。このような人はなかなかいません！ この世は芝居のようで、この役をどこで探せばいいのでしょうか？

歴史上、長い時間をかけて、やっと見つけたのです！（拍手） 旧勢力はそれがすぐに地獄に墮ちてほしくありません。それらが言うには、このような者はもう二度と見つからないからです。